

# '98 *Year's Report*

財団法人 大阪府男女協働社会づくり財団

# 財団法人大阪府男女協働社会づくり財団の概要

1 設立目的

財団法人大阪府男女協働社会づくり財団は、男女の自立とあらゆる分野への対等な参加・参画を促進し、行政並びに府民・民間団体等が連携した多様な活動を効果的に推進するために中心的な役割を果たすとともに、各種事業及びドーンセンターの管理運営を行うこと等により男女協働社会の実現に寄与することを目的とする。

2 設立年月日

平成6年4月1日

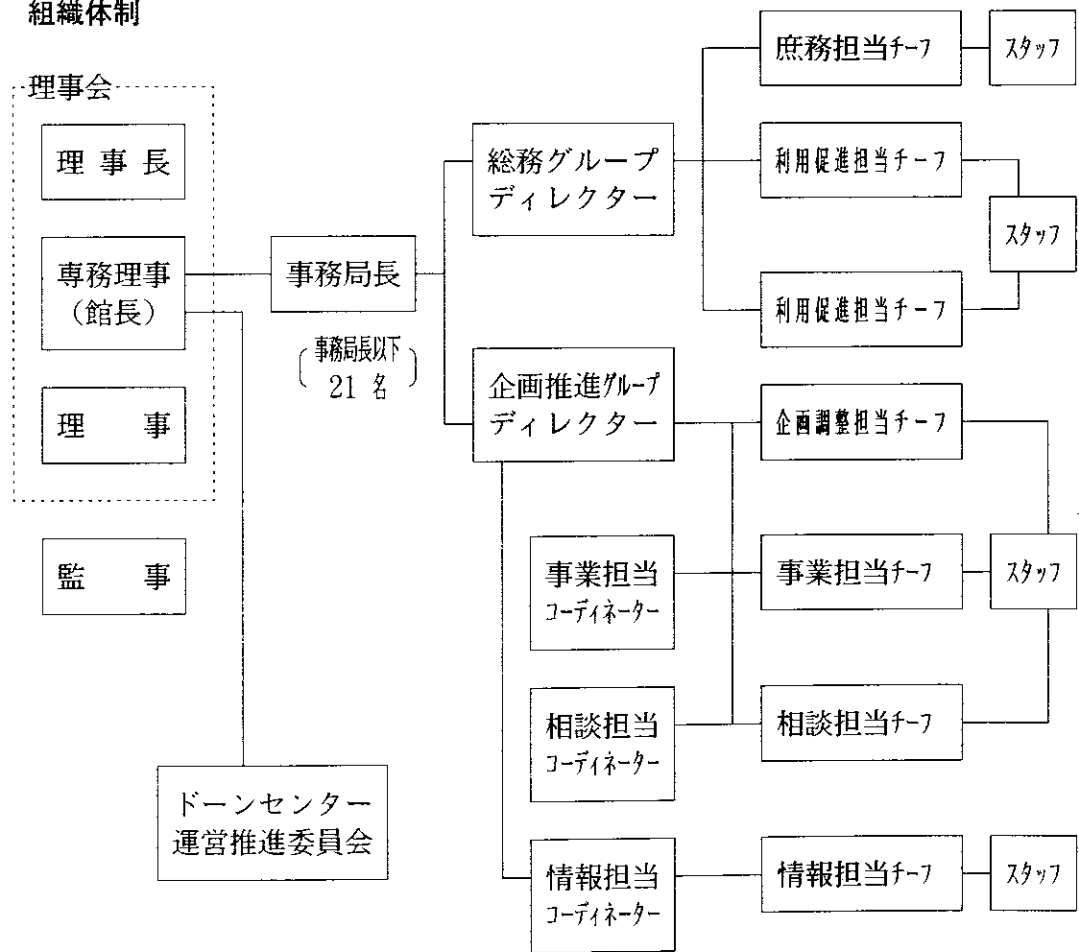
3 基本財産

1億円

4 財団の事務所

大阪府中央区大手前1丁目3番49号

5 組織体制





## 6 主要事業

- (1) 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業
- (2) 女性の抱える問題に関する相談事業
- (3) 啓発学習事業
- (4) 女性の能力開発に関する事業
- (5) 調査研究事業
- (6) 女性のネットワークづくり事業
- (7) 文化表現事業
- (8) 国際交流事業
- (9) 健康に関する事業
- (10) 広報事業
- (11) 施設の管理運営の受託事業

## 7 財団のあゆみ

- ・ 6. 4. 1 財団設立（理事長：谷川秀善氏 事務所：大阪府立婦人会館内）
- ・ 6. 5. 11 第1回理事会開催
- ・ 6. 6. 18 財団設立記念イベント（ウイメンズフォーラム）の開催
- ・ 6. 6. 20 第2回理事会開催（理事長に吉沢健氏就任）
- ・ 6. 7. 29 ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）竣工
- ・ 6. 8. 8 大阪府から財団へ施設引き継ぎ
- ・ 6. 8. 29 財団事務所移転（ドーンセンター内）
- ・ 6. 10. 27 第1回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 6. 11. 7 開館記念式典
- ・ 6. 11. 11 オープニングイベント開催（～11. 13）
- ・ 6. 11. 26 大阪国際女性フォーラム開催（～11. 27）
- ・ 7. 2. 27 第2回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 7. 3. 17 第3回理事会開催
- ・ 7. 6. 29 第4回理事会開催
- ・ 7. 7. 17 第3回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 7. 11. 10 ドーンフェスティバル（1周年事業）の開催（～11. 12）
- ・ 7. 11. 30 第4回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 8. 2. 29 第5回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 8. 3. 28 第5回理事会開催
- ・ 8. 6. 21 第6回理事会開催
- ・ 8. 7. 15 第6回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 8. 11. 8 ドーンフェスティバルの開催（～11. 10）
- ・ 8. 12. 16 第7回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 8. 12. 19 開館以来来館者100万人突破
- ・ 9. 2. 24 第8回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 9. 3. 28 第7回理事会開催
- ・ 9. 6. 24 第8回理事会開催
- ・ 9. 7. 16 第9回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 9. 7. 31 第9回理事会開催
- ・ 9. 10. 21 第10回理事会開催（理事長に松廣屋慎二氏就任）
- ・ 9. 10. 27 ドーンセンター運営推進委員会施設運営部会開催
- ・ 9. 10. 28 ドーンセンター運営推進委員会事業推進部会開催
- ・ 9. 11. 7 ドーンフェスティバルの開催（～11. 8）
- ・ 9. 12. 26 第11回理事会開催
- ・ 10. 2. 23 第10回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 10. 3. 28 第12回理事会開催
- ・ 10. 4. 16 第13回理事会開催
- ・ 10. 6. 26 第14回理事会開催
- ・ 10. 7. 24 第11回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 10. 11. 6 ドーンフェスティバルの開催（～11. 7）
- ・ 10. 12. 8 第12回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 11. 2. 26 第13回ドーンセンター運営推進委員会開催
- ・ 11. 3. 18 第15回理事会開催

# ドーンセンターの概要

## 1 基本理念と目的

「男女の自立と対等な参加・参画に基づく男女協働による新しい社会の創造」を基本理念とし、その実現のために3つの「I」を基本とした女性の総合的な支援施設としての役割を果たすことを目的としている。

- |        |                                    |               |
|--------|------------------------------------|---------------|
| 3つの「I」 | ・ Identity(アイデンティティ)               | : 女性の社会的自立の拠点 |
|        | ・ Information(インフォメーション)           | : 情報ネットワークの拠点 |
|        | ・ Internationalization(インターナショナル化) | : 国際交流の拠点     |

## 2 沿革

ドーンセンターは、各界の専門家や女性団体、グループの方々など、幅広い府民の参画を得て建設計画を進めてきた。

センターの事業や施設内容についてもドーンセンター推進会議やクリエイティブフォーラムなどを開催し、府民の方々とともに検討を行い方針を決定した。

- |        |                                                                                                                             |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和61年度 | ・ 「21世紀をめざす大阪府女性プラン」策定（4月）<br>（昭和61年度～平成2年度）<br>・ 建設予定地（元大手前会館跡地）を決定（9月）<br>・ 第1回婦人団体、グループアンケート実施（1月）                       |
| 昭和62年度 | ・ 基本構想公表（6月）<br>・ 第2回婦人団体、グループアンケート実施（1月）                                                                                   |
| 昭和63年度 | ・ 婦人総合センター（仮称）推進会議の設置（9月）<br>（平成3年7月、ドーンセンター推進会議に改称）<br>・ クリエイティブフォーラム開催（12月）<br>・ 府政モニターアンケート調査実施（12月）<br>・ 元大手前会館撤去完了（1月） |
| 平成元年度  | ・ 基本設計<br>・ 文化財発掘調査／第1期                                                                                                     |
| 平成2年度  | ・ 実施設計<br>・ 文化財発掘調査／第2期<br>・ クリエイティブフォーラム開催（12月）<br>・ 愛称「ドーンセンター」に決定（2月）                                                    |
| 平成3年度  | ・ 「女と男のジャンププラン」策定（9月）<br>（平成3年度～12年度）<br>・ 文化財発掘調査／第3期<br>・ クリエイティブフォーラム開催（12月）<br>・ 建設工事着工（3月）／工期28か月                      |
| 平成4年度  | ・ クリエイティブフォーラム開催（12月）<br>・ シンボルマーク決定（1月）                                                                                    |
| 平成5年度  | ・ プレイベント「女性映像フォーラム」開催（11月）                                                                                                  |
| 平成6年度  | ・ ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）開館（11月）                                                                                              |

### 3 建物概要

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 所在地   | 大阪府中央区大手前1丁目3番49号  |
| 敷地面積  | 3,170㎡             |
| 構造    | 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） |
| 階数    | 地上10階地下1階          |
| 高さ    | 52m                |
| 建築面積  | 1,970㎡             |
| 延床面積  | 12,760㎡            |
| 立体駐車場 | 92台                |

### 4 管理運営

財団法人大阪府男女協働社会づくり財団

### 5 利用について

- (1) 開館時間 午前9時30分～午後9時30分
- ・情報ライブラリー 平日・土曜 午前9時30分～午後9時30分  
日曜・祝日 午前9時30分～午後5時30分  
(貸出返却手続・情報相談は終了時間の30分前まで)
  - ・相談カウンセリング 電話相談：月～金曜 午前10時～午後4時  
午後6時～午後8時  
土・日・祝日 午前10時～午後4時  
面接相談：月・木曜 午前9時45分～午後8時30分  
火・金・土・日・祝 午前9時45分～午後5時30分  
法律相談：第2木曜 午後6時～午後8時  
第4金曜 午後2時～午後4時  
からだの相談：第4土曜 午後2時～午後4時  
外国人姓のため：第1土曜 午後2時～午後4時(ハングルでの相談)  
の相談 第2土曜 午後2時～午後4時(中国語での相談)  
第3土曜 午後2時～午後4時(英語での相談)
  - ・ウェルネスのフロア 平日・土曜 午前9時30分～午後9時  
日曜・祝日 午前9時30分～午後5時  
(入場は終了時間の30分前まで)
- (2) 休館日 毎週水曜日、年末年始、祝日の振替日  
情報ライブラリーは、毎月最終月曜日及び特別資料整理期間も休館
- (3) 受付開始日 ホール・パフォーマンススペース：6か月前から  
会議室等：3か月前から  
毎月1日に抽選。それ以後は先着順
- (4) 駐車場 立体駐車場 92台  
最初の1時間まで 400円(超過30分ごとに 200円)

# 事業概要

## 第1 各種事業の実施

### 1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業

女性に関する情報を幅広く収集・整理・加工し、データベース化するとともに、これらを活用して、多様な情報ニーズに的確に対応した情報提供を行った。

#### (1) 情報ライブラリーの運営

女性関連の図書・資料・ビデオ等を収集し、閲覧・視聴・貸出サービスを行うほか利用者からの情報相談に応じた。

##### ① 図書・資料の収集冊数（平成11年3月31日現在）

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 図 書  | 26,350冊               |
| 行政資料 | 6,516冊                |
| 雑 誌  | 929タイトル、19,584冊       |
| 新聞   | 6紙                    |
| AV資料 | 930本（ビデオ903本、カセット27本） |

##### ア 図書の内訳

| 分 類      | 冊 数    |
|----------|--------|
| 総 記      | 1,606  |
| 哲 学      | 1,278  |
| 歴史・女性事情  | 2,530  |
| 社会科学     | 9,244  |
| 自然科学     | 1,096  |
| 技 術      | 889    |
| 産 業      | 200    |
| 芸 術      | 959    |
| 言 語      | 207    |
| 文 学      | 6,805  |
| 児童書      | 945    |
| 女性の表現作品集 | 591    |
| 合 計      | 26,350 |

##### イ 行政資料の内訳

| 分 類         | 冊 数   |
|-------------|-------|
| 行動計画・プラン    | 643   |
| 施策概要・統計・白書  | 1,591 |
| 調査・研究報告書    | 1,083 |
| イベント・講座等の記録 | 1,346 |
| 研修・派遣事業報告書  | 475   |
| 女性関連施設概要    | 318   |
| 啓発冊子        | 615   |
| その他         | 445   |
| 合 計         | 6,516 |

##### エ AV資料

| 分 類         | 本 数 |
|-------------|-----|
| 女性問題・フェミニズム | 88  |
| 性           | 33  |
| からだとこころ     | 32  |
| 家族・家庭       | 16  |
| 子ども・学校      | 36  |
| 高齢化・福祉      | 26  |
| 社会・くらし・環境   | 70  |
| しごと         | 47  |
| 政治・経済・社会・文化 | 27  |
| 教育・研究       | 33  |
| 文化・芸術・表現    | 522 |
| 合 計         | 930 |

##### ウ 雑誌の内訳

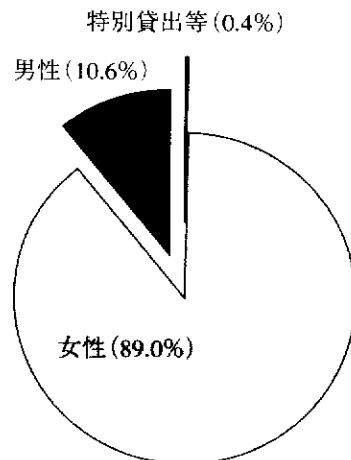
| 種 別            | タイトル数 |
|----------------|-------|
| 女性問題関連雑誌       | 79    |
| 一般雑誌           | 102   |
| グループのミニコミ誌     | 282   |
| 女性学研究所等の年報・機関誌 | 71    |
| 行政の広報誌         | 243   |
| 女性関連施設の広報誌     | 144   |
| その他(大学紀要等)     | 8     |
| 合 計            | 929   |

## ② 利用者登録数（ライブラリーカード）

### ア 性別

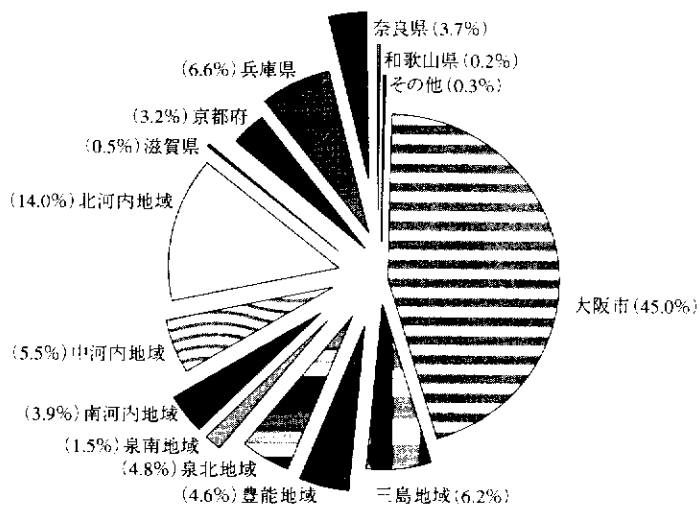
| 区 分    |     | 登録者数   |
|--------|-----|--------|
| 個人     | 女 性 | 10,631 |
|        | 男 性 | 1,267  |
|        | 計   | 11,898 |
| 特別貸出等※ |     | 46     |
| 合 計    |     | 11,944 |

※行政・学校関係その他団体への貸出、及び館内閲覧資料の一時貸出



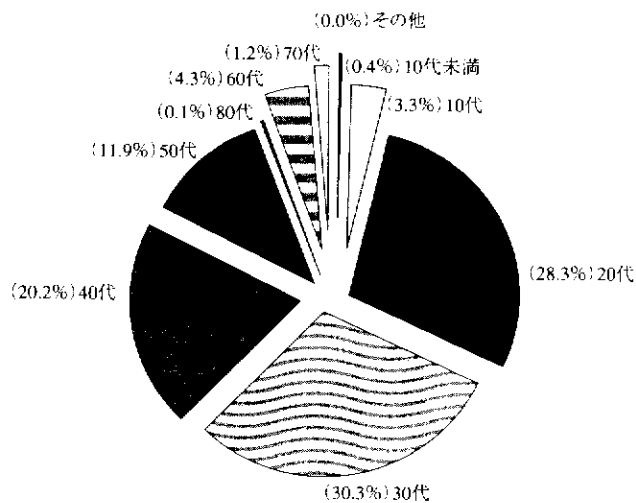
### イ 地域別

| 地 域   | 人 数    |
|-------|--------|
| 大阪市   | 5,363  |
| 三島地域  | 741    |
| 豊能地域  | 544    |
| 泉北地域  | 568    |
| 泉南地域  | 179    |
| 南河内地域 | 467    |
| 中河内地域 | 651    |
| 北河内地域 | 1,669  |
| 滋賀県   | 56     |
| 京都府   | 380    |
| 兵庫県   | 782    |
| 奈良県   | 440    |
| 和歌山県  | 24     |
| その他   | 34     |
| 合 計   | 11,898 |



### ウ 年代別

| 年 代   | 人 数    |
|-------|--------|
| 10代未満 | 46     |
| 10代   | 388    |
| 20代   | 3,369  |
| 30代   | 3,608  |
| 40代   | 2,399  |
| 50代   | 1,413  |
| 60代   | 507    |
| 70代   | 148    |
| 80代以上 | 15     |
| 不明    | 5      |
| 合 計   | 11,898 |





### ③ 貸出件数

| 分 類   | 平成10年度     | 平成9年度      | 平成8年度      |
|-------|------------|------------|------------|
| 図書・雑誌 | 30,694 (冊) | 33,451 (冊) | 37,130 (冊) |
| 行政資料  | 431 (冊)    | 447 (冊)    | 450 (冊)    |
| AV資料  | 10,070 (本) | 9,996 (本)  | 4,797 (本)  |
| 合 計   | 41,195     | 43,894     | 42,377     |

### ④ 情報相談

ライブラリー職員が、図書・資料・データベース等を活用して、検索指導や来館電話による情報相談に応じた。

(内 訳)

| 分 類              | 平成10年度 | 平成9年度 | 平成8年度  |
|------------------|--------|-------|--------|
| 利用案内             | 4,020  | 3,667 | 5,051  |
| 検索指導             | 274    | 245   | 361    |
| 資料の所蔵・所在調査       | 731    | 733   | 810    |
| 特定テーマの資料案内       | 295    | 272   | 453    |
| 人材・学習情報の提供       | 338    | 345   | 268    |
| グループ・施設情報の提供     | 280    | 270   | 233    |
| ライブラリー活動・運営情報の提供 | 118    | 114   | その他を含む |
| その他              | 17     | 14    | 173    |
| 合 計              | 6,073  | 5,660 | 7,349  |

### (2) 情報システムの運営

各種女性関係情報を誰もが自由に検索できる情報システム「情報CAN・ドンネット」を平成10年9月にリニューアルし、全データベース（人材情報をのぞく）をインターネット及びパソコン通信で、広く情報提供するとともに、新たなネットワークを形成して、海外及び国内への情報発信を行った。また、これを活用した講座等を開催した。

#### ① データベースの構築

・データ数

| メニュー名称                   | データ数    |
|--------------------------|---------|
| ドンネット- 事業・施設・英文ページ・出版物案内 | 75      |
| ライブラリーの本・ビデオ             | (1)のとおり |
| 講座・イベント                  | 14      |
| 団体・グループ情報                | 298     |
| 人材情報                     | 1,136   |
| 女性施設情報                   | 524     |
| 自治体の女性政策                 | 478     |
| 数字で見る女性                  | 97      |
| 法律・制度の動き                 | 120     |
| 困ったときの相談窓口               | 477     |

・ホームページへのアクセス数：31,661件（1998年9月～1999年3月）

## ② ドーンプラザの運営

会員制のワープロ・パソコン通信を開設し、利用者の情報発信・交流の場を提供した。

会員数：265名（女性 206人、男性 59人）

電子会議室開設状況

- 1 「フリートーク」
- 2 「子育てなんでもトーク」
- 3 「メディアウォッチング」
- 4 「聴覚障害者あすなろネット」
- 5 「ワーキング・ウィメンズ・フォーラム」
- 6 「表現のネガ&ポジ」

## ③ 館外からの接続回数

| 経 由         | 平成10年度 | 平成9年度    | 平成8年度    |
|-------------|--------|----------|----------|
| Ｏ－ｎｅｔ 24 経由 | 564 件  | 835 件    | 1, 130 件 |
| ドーンプラザ経由    | 121 件  | 297 件    | 607 件    |
| 合 計         | 685 件  | 1, 132 件 | 1, 737 件 |

## (3) 講座・展示等

### ① 情報活用講座「～いきいきシルバーライフ～」の開催

高齢期を安心して生き生きと過ごすための情報の探し方、選び方を身につける講座を開催した。

定員：50名（第4回のみ公開講座100人）

午後2時から午後4時

受講料：1回あたり 500円

|   | 月／日     | テ ー マ               | 講 師                       | 参加者数 |
|---|---------|---------------------|---------------------------|------|
| 1 | 1/14(木) | 情報を集めよう！            | 山田芳子(高齢社会をよくする女性の会・大阪)    | 69   |
| 2 | 1/21(木) | お助け消費者情報            | 高島由紀子(大阪府立消費生活センター相談情報班長) | 41   |
| 3 | 1/28(木) | 情報に近づくためのコミュニケーション術 | 橋 統子(コミュニケーション・コーディネーター)  | 45   |
| 4 | 2/ 4(木) | インターネットって何？[公開講座]   | 三辻茂樹(コンピュータシステム技術専門学校)    | 106  |
| 5 | 2/18(木) | シルバー世代のための生涯学習情報    | 藤田 豊(大阪府立文化情報センター)        | 46   |

② 情報活動専門研修の実施

女性に関する情報及び専門情報の収集・提供事業を担当する職員を対象に情報の収集・加工・提供の方法について実践的な研修を行うとともに担当職員の情報ネットワークの形成を図った。

定員：40人 受講者数：25人

|   | 日 時                         | テ ー マ                                                           | 講 師                                                      |
|---|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 1 | 10/2(金)<br>10:00～<br>16:30  | ・ 専門図書館と情報世界の女性<br>情報センターの動き<br>・ 専門情報・資料の収集方法<br>・ グループワーク (1) | 尼川洋子(ドーンセンター情報担当コーディネーター)<br>青木玲子(鯉川ライブラリー図書室)           |
| 2 | 10/16(金)<br>10:00～<br>16:30 | ・ ドーンネットの検索実習<br>・ 「仕事」をPR<br>・ グループワーク (2)                     | 木下みゆき(ドーンセンター情報ライブラリースタッフ)<br>丸本郁子(大阪学院短期大学教授)           |
| 3 | 10/23(金)<br>10:00～<br>16:30 | ・ 情報提供のための非図書資料<br>の整理<br>・ 利用者との関係づくり術<br>・ グループワーク (3)        | 木下みゆき(ドーンセンター情報ライブラリースタッフ)<br>川喜田好恵(ドーンセンター相談担当コーディネーター) |
| 4 | 10/30(金)<br>10:00～<br>16:30 | ・ 表現とメディア<br>・ プロの情報提供専門家としての<br>基礎知識<br>・ グループワーク (4)          | 田上時子(ドーンセンター事業担当コーディネーター)<br>尼川洋子(ドーンセンター情報担当コーディネーター)   |

③ ドーンネット検索講習会の開催 (1998年10月～1999年 3月)

ドーンネットの利用者拡大を図るため、検索のための基本的操作方法を実習する講習会を開催した。定員：15人(1回あたり) 火曜日又は木曜日に実施

| 開 催 時 間     | 開催回数 | 申込者数 | 参加人数 |
|-------------|------|------|------|
| 10:00～11:30 | 4回   | 15人  | 12人  |
| 14:00～15:30 | 8回   | 31人  | 20人  |
| 合 計         | 12回  | 46人  | 32人  |

④ 初心者パソコン入門セミナー「～なるほど！インターネット～」の開催

パソコンの初心者を対象にパソコンの基礎知識を講習することにより、情報機器に対する苦手意識を払拭し、インターネットを通して、ドーンセンターホームページや各種女性情報データベースの利用の拡大を図った。

| 開催日時               | 講 師   | 定 員 | 申込者数 | 受講者数 |
|--------------------|-------|-----|------|------|
| 3/12(金)13:30～15:30 | 三辻 茂樹 | 50人 | 115人 | 49人  |
| 3/13(土)13:30～15:30 |       | 50人 | 94人  | 50人  |

⑤ ビデオ上映会

情報ライブラリーで新たに購入したビデオから女性監督のドキュメンタリーやジェンダー問題の作品を選んで上映した。

| 月／日      | 上映作品               | 参加数 | 月／日      | 上映作品                    | 参加数 |
|----------|--------------------|-----|----------|-------------------------|-----|
| 4/24(金)  | ヴォイス・フロム・ザ・フロント    | 5   | 5/29(金)  | たからづかの女たち               | 13  |
| 6/26(金)  | 裁かれるべきは...         | 12  | 7/31(金)  | シャリー とフロレンス             | 25  |
| 8/28(金)  | スウェーデンの葬送と高齢者福祉    | 21  | 9/18(金)  | インディラ                   | 27  |
| 10/30(金) | NICO ICON          | 21  | 11/27(金) | 奈緒ちゃん                   | 9   |
| 12/18(金) | カオル                | 17  | 1/29(金)  | 働かされる子供たち I am a child! | 15  |
| 2/26(金)  | 静かなる革命～日本のフリースクール～ | 14  | 3/26(金)  | 自立をめざして ～アジアの女性とこどもたち～  | 6   |

⑥ 情報ライブラリーニュース「いんふぉめーと」の作成

情報ライブラリーの多様な活動を広くPRするため、女性情報と利用者を結ぶ双方向型のライブラリーニュースを作成し、府内外の女性関係施設及び図書館等へ配付した。

- ・A4版4頁 5,000部
- 第17号より第22号まで隔月発行
- 特別号 ライブラリーカード登録者1万人突破記念特別号(2,000部)

⑦ 情報ライブラリーの刊行物及び目録類

目録類

- ・所蔵ビデオリスト作成(平成10年度版)

⑧ 情報ライブラリー企画展示

～15歳の手記～「女たちの太平洋戦争」

朝日新聞社から、1991年に朝日新聞と朝日放送の呼びかけで全国から寄せられた「女たちの太平洋戦争」～15歳の手記～約3,000点の原資料を寄託された。思春期に否応なく戦争にまきこまれた女性たちや当時の思いがそのままに書き記された手書き原稿を展示した。

展示期間：平成10年8月1日(月)～8月30日(日)

～ようこそ手作り絵本の世界へ～柴田尚美の「ちらちらとかげろう展」

個性的なミニコミ誌をはじめ、イラストの作画、ショップの壁画作成、手作り絵本の講師などの活動を続ける柴田尚美の作品を展示した。

展示期間：平成11年2月23日(火)～3月28日(日)

## 2 女性の抱える問題に関する相談事業

女性の直面している様々な問題について、女性の視点から自立と主体的な生き方を目指し、相談カウンセリングにより、必要な援助と解決のためのサポートを行った。

### (1) 相談事業

#### ① 面接相談：専門の女性カウンセラーによる面接でのカウンセリング

月・木曜日

午前9時45分から午後8時30分

火・金・土・日曜日・祝日

午前9時45分から午後5時30分

|        | ～10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代～ | 不明 | 合 計   | (%)<br>構成比 |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|-------|------------|
| 生き方    | 5    | 112 | 197 | 94  | 34  | 18  | 7    | 4  | 471   | 30.4       |
| こころ    | 4    | 52  | 90  | 20  | 9   | 2   |      |    | 177   | 11.5       |
| からだ    |      | 4   | 1   | 4   | 1   | 1   |      |    | 11    | 0.7        |
| 仕事上の悩み |      | 7   | 25  | 9   |     |     |      |    | 41    | 2.7        |
| 夫婦関係   |      | 17  | 108 | 96  | 33  | 12  | 5    |    | 271   | 17.5       |
| 親子関係   | 12   | 49  | 80  | 84  | 82  | 32  | 2    |    | 341   | 22.0       |
| 人間関係   | 3    | 47  | 61  | 46  | 17  | 7   |      |    | 181   | 11.7       |
| 性・性的被害 | 1    | 11  | 18  | 8   | 1   |     |      |    | 39    | 2.5        |
| 暮らし    |      |     | 5   |     | 7   | 1   | 1    |    | 14    | 0.9        |
| その他    |      | 1   |     |     |     | 1   |      |    | 2     | 0.1        |
| 合 計    | 25   | 300 | 585 | 361 | 184 | 74  | 15   | 4  | 1,548 | 100.0      |

| 月  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月    | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 件数 | 134 | 118 | 148 | 142   | 128 | 125 | 150 | 131 | 115 |
| 月  | 1月  | 2月  | 3月  | 合 計   |     |     |     |     |     |
| 件数 | 110 | 126 | 121 | 1,548 |     |     |     |     |     |

② 電話相談：専用電話を使った、電話相談員による相談

月曜日から金曜日 午前10時から午後4時 午後6時から午後8時

土曜日・日曜日・祝日 午前10時から午後4時

|        | ～10代 | 20代 | 30代 | 40代  | 50代 | 60代 | 70代～ | 不明  | 合 計   | (%)<br>構成比 |
|--------|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-------|------------|
| 生き方    | 3    | 60  | 73  | 297  | 15  | 3   |      | 22  | 473   | 12.0       |
| こころ    | 8    | 179 | 132 | 171  | 44  | 13  |      | 39  | 586   | 14.9       |
| からだ    | 4    | 61  | 19  | 10   | 7   |     |      | 54  | 155   | 3.9        |
| 仕事上の悩み |      | 41  | 29  | 34   | 12  |     | 1    | 18  | 135   | 3.4        |
| 夫婦関係   | 2    | 150 | 316 | 194  | 79  | 25  | 1    | 91  | 858   | 21.8       |
| 親子関係   |      | 71  | 135 | 174  | 80  | 37  | 1    | 45  | 543   | 13.8       |
| 人間関係   | 14   | 135 | 154 | 72   | 23  | 4   | 1    | 50  | 453   | 11.5       |
| 性・性的被害 | 3    | 19  | 8   | 7    | 2   |     |      | 14  | 53    | 1.4        |
| 暮らし    | 1    | 46  | 30  | 181  | 11  | 3   |      | 199 | 471   | 12.0       |
| その他    |      | 7   | 3   | 2    |     |     |      | 195 | 207   | 5.3        |
| 合 計    | 35   | 769 | 899 | 1142 | 273 | 85  | 4    | 727 | 3,934 | 100.0      |

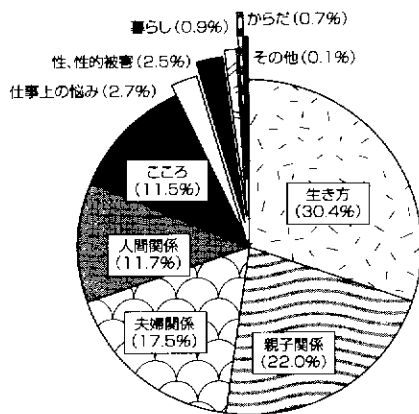
| 月  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月    | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 件数 | 346 | 288 | 343 | 350   | 385 | 320 | 372 | 286 | 296 |
| 月  | 1月  | 2月  | 3月  | 合 計   |     |     |     |     |     |
| 件数 | 309 | 297 | 342 | 3,934 |     |     |     |     |     |



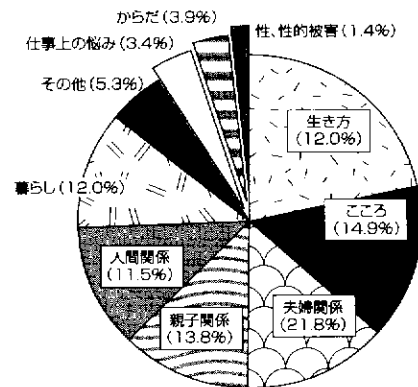
### 主訴別相談件数

|      | 生き方 | こころ | からだ | 仕事上の悩み | 夫婦関係  | 親子関係 | 人間関係 | 性、性的被害 | 暮らし | その他 | 計     |
|------|-----|-----|-----|--------|-------|------|------|--------|-----|-----|-------|
| 面接相談 | 471 | 177 | 11  | 41     | 271   | 341  | 181  | 39     | 14  | 2   | 1,548 |
| 電話相談 | 473 | 586 | 155 | 135    | 858   | 543  | 453  | 53     | 471 | 207 | 3,934 |
| 計    | 944 | 763 | 166 | 176    | 1,129 | 884  | 634  | 92     | 485 | 209 | 5,482 |

面接相談



電話相談

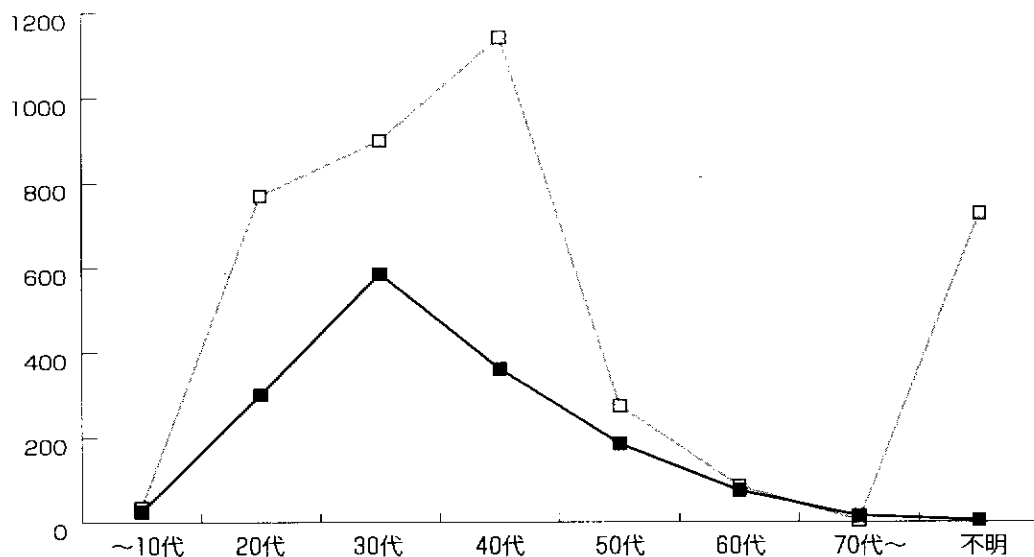


### 年代別相談件数

|      | ～10代 | 20代 | 30代 | 40代   | 50代 | 60代 | 70代～ | 不明  | 合計    |
|------|------|-----|-----|-------|-----|-----|------|-----|-------|
| 面接相談 | 25   | 300 | 585 | 361   | 184 | 74  | 15   | 4   | 1,548 |
| 電話相談 | 35   | 769 | 899 | 1,142 | 273 | 85  | 4    | 727 | 3,934 |

面接相談

電話相談



### ③ 特別相談

ア 法律相談：女性弁護士による法律問題に関する面接相談

毎月第2木曜日 午後6時から午後8時

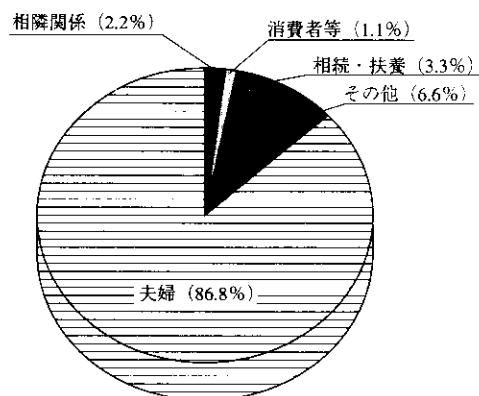
第4金曜日 午後2時から4時

| 期 月    | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 | 構成比(%) |
|--------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|--------|
| 夫婦(離婚) | 8 | 6 | 7 | 5 | 5 | 6 | 8  | 8  | 8  | 6 | 5 | 7 | 79 | 86.8   |
| 相続・扶養  |   |   |   |   |   | 1 |    |    |    |   | 2 |   | 3  | 3.3    |
| 借地借家   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |    |        |
| 消費者等   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   | 1 |   | 1  | 1.1    |
| 相隣関係   |   |   |   |   |   | 1 |    |    |    | 1 |   |   | 2  | 2.2    |
| 刑事事件   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |    |        |
| その他    |   | 1 |   | 1 | 2 |   |    |    |    | 1 |   | 1 | 6  | 6.6    |
| 合 計    | 8 | 7 | 7 | 6 | 7 | 8 | 8  | 8  | 8  | 8 | 8 | 8 | 91 | 100.0  |

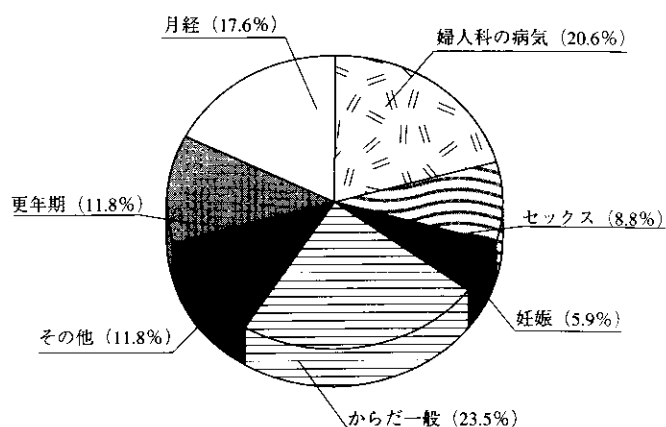
イ からだの相談：女性産婦人科医師による医療的見地からの助言が必要なものについての面接相談 毎月第4土曜日 午後2時から午後4時

| 期 月    | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 | 構成比(%) |
|--------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|--------|
| 婦人科の病気 |   | 1 |   | 1 |   | 1 |    | 1  | 1  | 1 | 1 |   | 7  | 20.6   |
| 月 経    |   |   |   | 2 | 1 |   |    |    |    | 1 | 2 |   | 6  | 17.6   |
| 更年期    | 1 |   |   |   |   |   | 1  |    |    |   |   | 2 | 4  | 11.8   |
| 妊 娠    |   |   |   | 1 |   |   | 1  |    |    |   |   |   | 2  | 5.9    |
| セックス   |   |   |   |   | 1 | 1 |    |    | 1  |   |   |   | 3  | 8.8    |
| からだ一般  | 2 | 1 | 1 |   | 1 |   |    | 2  | 1  |   |   |   | 8  | 23.5   |
| その他    |   | 1 | 1 |   | 1 |   |    |    |    |   |   | 1 | 4  | 11.8   |
| 合 計    | 3 | 3 | 2 | 4 | 4 | 2 | 2  | 3  | 3  | 2 | 3 | 3 | 34 | 100.0  |

法律相談



からだの相談



④ 外国人女性のためのサポート・カウンセリング

ア バイリンガル・カウンセリングの実施

府内に在勤・在住する外国人女性が、異文化の中で出会う様々な悩みに、母国語及び日本語で相談を行い、問題解決に向けてサポートを行った。

対象：ハングル、中国語、英語圏の女性

（在日韓国・朝鮮人の女性を含む。）

相談員：女性で、母国語と日本語を話すバイリンガル・カウンセラー

日時：毎月第1・2・3土曜日の午後2時から4時まで

第1土曜日 ハングルでの相談

第2土曜日 中国語での相談

第3土曜日 英語での相談

イ、英語を話す外国人女性のためのディスカッション・グループの実施

日本で生活する外国人女性等が出会う共通の問題についてグループで話し合い、情報を交換する機会を提供し、日本での生活における問題解決の支援を行った。

平成10年4月から平成11年3月まで毎月テーマを変え、第3土曜日の正午から午後1時30分まで、計12回実施。

|      |                  | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合 計 |
|------|------------------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|-----|
| ハングル |                  | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0  | 0  | 1  | 0 | 1 | 2 | 7   |
| 中国語  |                  | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2  | 4  | 2  | 3 | 2 | 3 | 23  |
| 英語   | 相 談              | 0 | 3 | 3 | 0 | 1 | 2 | 1  | 1  | 1  | 2 | 2 | 1 | 17  |
|      | ディスカッション<br>グループ | 3 | 3 | 4 | 2 | 3 | 2 | 2  | 2  | 2  | 6 | 3 | 4 | 36  |
| 合 計  | 相 談              | 0 | 3 | 5 | 2 | 3 | 6 | 3  | 5  | 4  | 5 | 5 | 6 | 47  |
|      | ディスカッション<br>グループ | 3 | 3 | 4 | 2 | 3 | 2 | 2  | 2  | 2  | 6 | 3 | 4 | 36  |

⑤ 期間を限定した特別相談

女のからだと性 電話相談

専用電話を使って、女性相談員による相談

期 間：平成10年11月13日から平成10年11月15日までの3日間

午後1時～8時

相談件数：122件

⑥ 相談員会議

平成10年4月から平成11年3月まで、毎月1回、相談事業の進め方についての調整や社会資源台帳（相談関連機関情報）の整備等について検討を行うとともに、毎回1例ずつ「事例検討」を行い、相談員の研鑽を図った。

(2) サポート・グループ

同様の悩みをもつ女性のグループを結成し、ファシリテーター中心に自分の悩みを語り合い相互に支援を行うことにより悩みの解決を図った。

定員：15人

| 日 程        |            | 回数 | テ ー マ                                  | ファシリテーター              | 参加者数 |
|------------|------------|----|----------------------------------------|-----------------------|------|
| 4/21~7/7   | 火曜午前       | 11 | 対等でないパートナー関係に悩むあなたに・・・                 | 宮本 由起代（ドーンセンターカウンセラー） | 18   |
| 5/14~7/23  | 木曜夜間       | 10 | 働きたい、働き続けたいあなたと                        | 内藤 みちよ（ドーンセンターカウンセラー） | 7    |
| 5/16~7/18  | 隔週土曜<br>午後 | 6  | 燃えつきないで・・・<br>教師を続けるために・・・ PART2       | 本多 利子（ドーンセンターカウンセラー）  | 12   |
| 9/14~12/14 | 月曜午後       | 10 | 介護・看護をしながらの暮らし                         | 平松 みどり（ドーンセンターカウンセラー） | 8    |
| 9/22~12/15 | 火曜午前       | 11 | 幼稚園・小学校など小さな子どもの<br>保護者同士のおつきあいに悩むあなたに | 宮本 由起代（ドーンセンターカウンセラー） | 15   |
| 1/11~3/25  | 月曜夜間       | 10 | とりあえず就職はしたけれど・・・<br>～私の居場所はどこですか・・・～   | 本多 利子（ドーンセンターカウンセラー）  | 16   |
| 1/14~3/25  | 木曜午後       | 10 | 30代、自分の生き方が決まらない・・・！                   | 内藤 みちよ（ドーンセンターカウンセラー） | 16   |
| 2/ 1~3/29  | 月曜午前       | 9  | 思いがけずパートナーをなくして                        | 平松 みどり（ドーンセンターカウンセラー） | 19   |

### (3) 講座の開催

#### ① 女性（わたし）のためのカウンセリング講座の開催

女性が自己実現していくために必要な視点を、カウンセリングの手法を用いて紹介し、自立と女性問題解決に資した。

定員：60人 申込者数：564人 受講者数：74人 時間：午前10時～12時

|    | 月日       | テ ー マ                                | 講 師                             |
|----|----------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1  | 5/15 (金) | “わたし”を大切にしていますか                      | 川喜田好恵<br>(ドーンセンター相談担当コーディネーター)  |
| 2  | 5/22 (金) | いきいきと生きるための心理学                       | 平松みどり<br>(ドーンセンターカウンセラー)        |
| 3  | 5/29 (金) | アダルト・チルドレンとは？<br>～親子関係を考える～          | 本多 利子<br>(ドーンセンターカウンセラー)        |
| 4  | 6/ 5 (金) | 女性のためのストレスマネジメント                     | 野田 哲朗<br>(大阪府立こころの健康総合センター精神科医) |
| 5  | 6/12 (金) | カウンセリングの現場から<br>～より対等なパートナーシップのために～  | 宮本由起代<br>(ドーンセンターカウンセラー)        |
| 6  | 6/19 (金) | さわやかな自己主張                            | 内藤みちよ<br>(ドーンセンターカウンセラー)        |
| 7  | 6/26 (金) | “わたし”らしく生きる<br>～ビデオ鑑賞とグループ・ディスカッション～ | 竹之下雅代<br>(ウイメンズカウンセリング京都)       |
| 8  | 7/ 3 (金) | 女性のための<br>“こころ”と“からだ”の自己管理           | 阿古 安子<br>(ウイメンズセンター大阪)          |
| 9  | 7/10 (金) | 法律からみた女性問題<br>～民法・戸籍を考える～            | 長谷川京子 (弁護士)                     |
| 10 | 7/17 (金) | “わたし”らしさの表現<br>～グループ・ディスカッション～       | 富田美穂子<br>(大阪府立看護大学学生相談室カウンセラー)  |
| 11 | 7/24 (金) | “男らしさ”が女を縛る、<br>“女らしさ”が男を縛る          | 中村 彰 (メンズセンター)                  |
| 12 | 7/31 (金) | 恋愛と女らしさ                              | 上村くにこ (甲南大学教授)                  |
| 13 | 8/ 7 (金) | これから私が実践できること                        | 宮本由起代<br>(ドーンセンターカウンセラー)        |

② 女性のための自己表現セミナー ' 9 8 <夏コース>の開催

自分の意見をうまく表現したり、人前で話すのが苦手であるなどの女性が、自分の能力を把握し、活かしていくための自己表現や人間関係のあり方等を紹介した。

定員：40人 申込者数：166人 受講者数：49人

時間：午後6時30分から午後8時30分 受講料：4,000円

|   | 月日       | テ ー マ                                 | 講 師                            |
|---|----------|---------------------------------------|--------------------------------|
| 1 | 6/11 (木) | 自己表現トレーニングとは<br>～対人コミュニケーションと心の基本的人権～ | 川喜田好恵<br>(ドーンセンター相談担当コーディネーター) |
| 2 | 6/18 (木) | 女性と自己表現<br>～コミュニケーションにおける“女らしさ”の落とし穴～ | 宮本由起代<br>(ドーンセンターカウンセラー)       |
| 3 | 6/25 (木) | 自己表現の実例に学ぶ①<br>～対人関係の3つのパターン～         | 内藤みちよ<br>(ドーンセンターカウンセラー)       |
| 4 | 7/ 2 (木) | 自己表現の実例に学ぶ②<br>～ロール・プレイをやってみよう～       | 宮本由起代<br>(ドーンセンターカウンセラー)       |
| 5 | 7/ 9 (木) | 自己表現の実例に学ぶ③<br>～自己表現・自己主張のコツ～         | 川喜田好恵<br>(ドーンセンター相談担当コーディネーター) |

③ 女性のための自己表現セミナー ' 9 8 <秋コース>の開催

自分の意見をうまく表現したり、人前で話すのが苦手であるなどの女性が、自分の能力を把握し、活かしていくための自己表現や人間関係のあり方等を紹介した。

定員：40人 申込者数：131人 受講者数：48人

時間：午後2時から午後4時 受講料：4,000円

|   | 月日        | テ ー マ                                 | 講 師                            |
|---|-----------|---------------------------------------|--------------------------------|
| 1 | 10/ 2 (金) | 自己表現トレーニングとは<br>～対人コミュニケーションと心の基本的人権～ | 川喜田好恵<br>(ドーンセンター相談担当コーディネーター) |
| 2 | 10/ 9 (金) | 女性と自己表現<br>～コミュニケーションにおける“女らしさ”の落とし穴～ | 川喜田好恵<br>(ドーンセンター相談担当コーディネーター) |
| 3 | 10/16 (金) | 自己表現の実例に学ぶ①<br>～対人関係の3つのパターン～         | 宮本由起代<br>(ドーンセンターカウンセラー)       |
| 4 | 10/23 (金) | 自己表現の実例に学ぶ②<br>～ロール・プレイをやってみよう～       | 宮本由起代・内藤みちよ<br>(ドーンセンターカウンセラー) |
| 5 | 10/30 (金) | 自己表現の実例に学ぶ③<br>～自己表現・自己主張のコツ～         | 内藤みちよ<br>(ドーンセンターカウンセラー)       |

④ フェミニスト・カウンセリング専門講座（理論編）の開催

女性の自立と主体的な生き方をめざす新しいカウンセリングを行うために必要な専門知識を修得するための講座を開催した。

定員：40人 申込者数：124人 受講者数：55人

時間：原則、隔週土曜日の午前10時から午後4時30分 受講料：12,000円

|    | 月日       | テ マ                                         | 講 師                                     |
|----|----------|---------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1  | 11/28(土) | フェミニスト・カウンセリングとは<br>～従来のカウンセリングで癒されないもの～    | 川喜田好恵<br>(ドーンセンター相談担当コーディネーター)          |
| 2  | 11/28(土) | 精神医学と女性<br>～多文化的な視点から～                      | 宮地 尚子<br>(精神科医、近畿大学医学部＜衛生学教室＞教員)        |
| 3  | 12/12(土) | 女性と依存症<br>～女性をアルコールに走らせるもの～                 | 東 牧子<br>(大阪府立こころの健康総合センター)              |
| 4  | 12/12(土) | 発達心理学を<br>ジェンダー・フリーの視点で見直す                  | 湯川 隆子 (三重大学教員)                          |
| 5  | 1/ 9(土)  | 女性の悩みを<br>フェミニストの視点で読み解く                    | 井上摩耶子<br>(ウイメンズカウンセリング 京都)              |
| 6  | 1/ 9(土)  | “からだ” に表れる<br>ジェンダーの問題                      | 藤田 光恵 (堀川病院心療内科)                        |
| 7  | 1/23(土)  | 性・暴力被害とPTSD                                 | 小西 聖子 (精神科医、東京医科歯科大学<br>＜被害者行動学研究部門＞教員) |
| 8  | 1/23(土)  | ジェンダーと暴力<br>～“男性問題”との取り組みから～                | 中村 正 (立命館大学教員)                          |
| 9  | 2/13(土)  | エンパワーメントのための技法<br>～システム的アプローチとリフレーミング～      | 倉石 哲也 (大阪府立大学教員)                        |
| 10 | 2/13(土)  | エンカレッジメントを活用する法<br>～アドラー心理学を応用して～           | 内藤みちよ<br>(ドーンセンターカウンセラー)                |
| 11 | 2/27(土)  | 女性のための法廷心理学<br>～アドボカシーの重要性～                 | 長谷川京子 (弁護士)                             |
| 12 | 2/27(土)  | サポート・グループの活用とすすめ方 (Ⅰ)<br>～なぜ女性問題にグループが役立つか～ | 宮本由起代<br>(ドーンセンターカウンセラー)                |
| 13 | 3/13(土)  | サポート・グループの活用とすすめ方 (Ⅱ)<br>～カウンセリング倫理の視点から～   | 川喜田好恵<br>(ドーンセンター相談担当コーディネーター)          |

(4) 女性関係相談機関ネットワーク会議の開催

府内の女性関連施設の相談事業部門との連携を密にし、有機的な相談が実施できる体制づくりを図るため、関係相談機関の連絡調整会議を行った。

|             | 日 時                      | 内 容                                                                | 参加機関                                     |
|-------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| 第<br>1<br>回 | 平成10年5月29日（木）<br>午後2時～4時 | 情報交換等                                                              | 35機関（56人）<br>府関係 13<br>市町村関係 21<br>その他 1 |
| 第<br>2<br>回 | 平成11年3月5日（金）<br>午後2時～4時  | 講演「夫・恋人等からの暴力<br>についての調査をして・・・」<br>フェミニストカウンセリング 堺<br>カウンセラー 杉本志津佳 | 31機関（43人）<br>府関係 13<br>市町村関係 17<br>その他 1 |



### 3 啓発学習事業

男性を含めた府民の関心を喚起し、女性問題解決のための啓発活動を行うとともに自主的な学習活動を支援した。

#### (1) 女性問題啓発講座の開催

女性問題に対する正しい理解と認識を深めるための各種講座を開催した。

##### ① ただいま創作中

従来の「表現作品」とはわれない、様々な斬新な表現方法を提案することにより多様な自己表現の可能性を広げるとともに、埋もれた才能を発掘する講座を開催した。

定員：40人 申込者数：79人 受講者数：41人

午後6時30分から午後8時30分

|   | 月/日     | テ マ                  | 講 師      |
|---|---------|----------------------|----------|
| 1 | 5/26(火) | 書く/木の葉に語る私の想い        | 装丁家 杉野 諒 |
| 2 | 6/9(火)  | 描く/線香で描く文様           |          |
| 3 | 6/23(火) | 彩る/3色の紙を切り好きな形をつくる   |          |
| 4 | 7/7(火)  | かたちづくる/クラフト紙でつくる立体工作 |          |

##### ② ライブセミナー～女性と仕事～

いろいろな分野で活躍している女性を講師として招き、仕事の現場での生の声を聞くことにより、女性が働き続けることを応援していく講座を開催した。

定員：各50人 午後2時から午後4時

|   | 月/日      | テ マ         | 講 師                   | 申込者数 | 受講者数 |
|---|----------|-------------|-----------------------|------|------|
| 1 | 6/13(土)  | 保健婦の仕事について  | 赤松彰子(保健婦)             | 40   | 32   |
| 2 | 8/1(土)   | 新聞記者の仕事について | 石野伸子(産経新聞社文化部次長)      | 69   | 52   |
| 3 | 10/17(土) | 映画の仕事について   | 神谷雅子(京都朝日シネマ支配人)      | 88   | 52   |
| 4 | 12/5(土)  | 建築家の仕事について  | 中川俱子<br>(㈱アルプラン代表取締役) | 50   | 28   |
| 5 | 3/27(土)  | 脚本家の仕事について  | 森脇京子(脚本家)             | 75   | 51   |

### ③女性への暴力〈実態編・支援編〉

女性であるがゆえに受ける「女性への暴力」について、その実態、被害者の心理状況等を明らかにし、支援体制の現状と課題、今後の対策を検討した。

6月は、〈実態編〉として、暴力の実態を把握する講座を開催した。

定員：50人 申込者数：79人 受講者数：43人

午後1時30分から午後4時

|   | 月／日     | テ　　ー　　マ               | 講　　師                            |
|---|---------|-----------------------|---------------------------------|
| 1 | 6／27（土） | 夫・恋人からの暴力の実態          | 杉本志津佳<br>（フェミニストカウンセリング系カウンセラー） |
| 2 | 7／4（土）  | セクシュアル・ハラスメントの実態      | 春日邦江（大阪府労働部労働福祉推進課）             |
| 3 | 7／11（土） | 買売春の実態                | 阿部裕子（みずら事務局長）                   |
| 4 | 7／18（土） | レイプ・性暴力の実態            | 段林和江（弁護士）                       |
| 5 | 7／25（土） | ディスカッション<br>～実態編のまとめ～ | 田上時子<br>（ドーンセンター事業担当コーディネーター）   |

9月は、〈支援編〉として、6月からの〈実態編〉における暴力の実態の把握をもとに、被害者心理を十分にふまえた今後の支援のあり方を検討する講座を開催した。

定員：50人 申込者数：57人 受講者数：51人

午後1時30分から午後4時

|   | 月／日     | テ　　ー　　マ                  | 講　　師                           |
|---|---------|--------------------------|--------------------------------|
| 1 | 9／5（土）  | シェルター活動<br>～身の安全の確保のために～ | 近藤恵子<br>（女のスペース・おん代表世話人）       |
| 2 | 9／12（土） | 法律の中のサポート体制              | 長谷川京子（弁護士）                     |
| 3 | 9／19（土） | 被害者支援の入り口<br>～一番最初のSOS～  | 宮本由起代<br>（ドーンセンター カウンセラー）      |
| 4 | 9／26（土） | 被害者相談窓口：ウーマンライン          | 五島一代（大阪府警察本部刑事総務課）             |
| 5 | 10／3（土） | ディスカッション<br>～支援編のまとめ～    | 川喜田好恵<br>（ドーンセンター相談担当コーディネーター） |

④ 男女協働子育てシリーズ —— 3歳児神話からの脱却 ——

「女性と男性がともに子育てに参加する」をキーワードに、家族や社会の中で子どもをどのように育てていけばよいのかを学ぶ講座を開催した。

定員：50人 申込者数：81人 受講者数：44人

午前10時から午後0時

|   | 月/日       | テ ー マ                                  | 講 師                        |
|---|-----------|----------------------------------------|----------------------------|
| 1 | 10/16 (金) | 子育て心理学にまつわるウソとホント<br>～「3歳までは母の手で」は本当か～ | 岩堂美智子<br>(大阪市立大学生活科学部教授)   |
| 2 | 10/26 (月) | 母親の一人育児と児童虐待・育児不安                      | 村本邦子<br>(女性ライフサイクル研究所所長)   |
| 3 | 10/29 (木) | 母性神話によりかからないで生きる                       | 赤松彰子(保健婦)                  |
| 4 | 11/2 (月)  | たくさんの人と豊かに育つ<br>～共同子育ての実践から～           | 村田和子(貝塚市立中央公民館)            |
| 5 | 11/9 (月)  | 男性と子育て                                 | 汐見稔幸<br>(東京大学大学院教育学研究科助教授) |

⑤ キャンパス・ライフから見るジェンダー～21世紀へのメッセージ～

10代、20代を対象に男女のつきあい方、「性」についてなど、「私」が「私らしく生きる」ために、自分の好きな生き方を選択できる社会をつくり、周りの「常識」にとらわれることなく、自分流の生き方をつかむためのきっかけづくりの講座を開催した。

定員：50人 申込者数：62人 受講者数：延72人

午後2時から午後4時(最終回のみ午後4時から午後6時)

|   | 月/日      | テ ー マ               | 講 師                       |
|---|----------|---------------------|---------------------------|
| 1 | 1/30 (土) | 学校の中のジェンダー          | 日野玲子(愛知大学講師)              |
| 2 | 2/6 (土)  | デートからのホップ・ステップ・ジャンプ | 川畑真理子(心理カウンセラー)           |
| 3 | 2/13 (土) | 「家族すること」からの自由       | 深江誠子(平安女学院短期大学講師)         |
| 4 | 2/20 (土) | 私の「性」は私の「生」         | 林知恵子<br>(レディスクリニック・ハヤシ院長) |

(2) 「ウィメンズフォーラム」

10 ドーンフェスティバル'98 に別掲

#### 4 女性の能力開発に関する事業

女性の社会参加・参画を促進するため、女性の能力の開発・育成に必要な講座等の開催や支援事業を行った。

##### (1) 社会参加・参画をめざす女性のための実践講座

「女性グループ・ネットワークのための組織開発講座」

男女協働社会の実現をめざしている女性団体・グループが抱える悩みや課題を明らかにしながら、その問題の解決についてさまざまなスキルを学び、ケーススタディを通してグループが相互にエンパワーし、女性団体・グループの新しいパートナーシップづくりの活動を支援した。

定員：30人 申込者数：89人 受講者数：56人

日程：平成11年1月28日（木）～3月25日（木）

時間：午後 13:30～15:30

午前・午後 10:30～12:30 13:30～15:30

| 月 日              | テ ー マ                             | 講 師                        |
|------------------|-----------------------------------|----------------------------|
| ①組織形態と財源づくり      |                                   |                            |
| 1/28(木)<br>午前・午後 | 地域活動を事業へ へ志と経済の両立へ<br>NPOの事業と事業評価 | 桜井陽子<br>(財横浜市女性協会ディレクター)   |
| 2/2(火)午後         | 市民活動のための財源獲得術                     | 早瀬昇(大阪NPOセンター顧問)           |
| 2/5(金)午後         | NPO法について                          | 草薙勝之(大阪府男女協働社会づくり課主幹)      |
| 2/9(火)午後         | 会計・税務                             | 中務裕之(公認会計士・税理士)            |
| ②女性のリーダーシップと人間関係 |                                   |                            |
| 2/16(火)<br>午前・午後 | 女性のためのリーダーシップマネジメント(1)<br>" (2)   | 陸田昭子<br>(本高砂屋広報部チーフアドバイザー) |
| 2/23(火) 午後       | コーディネート とコミュニケーションマネジメント          | 筒井のり子 (聖和大学教育学部助教授)        |
| 2/26(金) 午後       | 組織の開発とリーダーの役割                     | 中村順子(コミュニティサポートセンター神戸代表)   |

| 月 日              | テ ー マ                                                        | 講 師                            |
|------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| ③事務局機能           |                                                              |                                |
| 3/2(火)午後         | パソコンによる業務管理                                                  | 三辻茂樹<br>(コンピュータシステム技術専門学校校長)   |
| 3/5(金)午後         | 〃                                                            |                                |
| 3/11(木)<br>午前・午後 | 広報と情報発信                                                      | 尼川洋子(ドーンセンター情報担当コーディネーター)      |
|                  | ネットワーク としての事務局スタッフの<br>意識と役割                                 | 川喜田好恵<br>(ドーンセンター総務担当コーディネーター) |
| ④ケーススタディ         |                                                              |                                |
| 3/12(金)<br>午前・午後 | BBB OSAKA                                                    | 登圭緯子 (代表)                      |
|                  | WANA関西                                                       | 藤木美奈子 (〃 )                     |
| 3/16(火) 午後       | アトリエF                                                        | 向田貞子 (〃 )                      |
| 3/19(金)<br>午前・午後 | 女たちの会社ポレ・ポレ                                                  | 大崎洋子 (〃 )                      |
|                  | プロジェクト結ぶ                                                     | 石井布紀子 (〃 )                     |
| 3/25(木)<br>午前    | ワークショップ<br>・グループづくりの足を踏み出すまでとその歩目を着地<br>するまで<br>・グループ運営を高めよう | 受 講 生                          |

また、受講生間のネットワークを図るため、下記のとおり交流会を開催した。

と き：平成11年3月25日(木) 12:30～14:00

参加者数：21名

## (2) ニューワーク創業支援事業

女性の経済活動における社会的な不平等の是正と女性の新しい働き方の創造を目的として、「起業」という手段で社会的に意義の高い仕事を自ら創りだし、自立と自己実現を図る新しい働き方を行おうとする女性に対して、創業のための各種支援を行った。

### ① 女性のためのニューワーク創業支援講座(基礎コース)

ワークショップを取り入れた実践的なカリキュラムにより、起業に必要な基礎知識を学ぶ講座を開催した。

定員：40人 受講料：20,000円  
 <9月期> 申込者数：54人 受講者数：39人

|   | 月日          | テ<br>ー<br>マ                                                                               | 講<br>師                                                               |
|---|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 1 | 9/12<br>(土) | オリエンテーション<br>基調講演<br>起業を実現するために<br>ワークショップ (ビジネスビジョン)                                     | 木田珠子(豊栄社長)<br>上田篤子(大阪府立産業開発研究所)<br>"                                 |
| 2 | 9/13<br>(日) | 女性起業家事例紹介<br>"<br>創業・設立<br>経営知識とリスク管理                                                     | 飯尾恵子(ルフラン・プロジェ)<br>粉川澄子(ばむ)<br>坂元雅子(ビジネスファームサカモト代表)<br>"             |
| 3 | 9/19<br>(土) | 「My Business」を立ち上げる<br>ビジネスマネジメント<br>資金調達「ニューワークバンク」について<br>ビジネスプランニング<br>ビジネスプラン・ワークショップ | 智子・Lipp(ビジネスコンサルタント)<br>"<br>男女協働社会づくり課<br>智子・Lipp(ビジネスコンサルタント)<br>" |
| 4 | 9/27<br>(日) | プレゼンテーションスキル<br>ワークショップ「私のビジネスプラン」<br>人脈づくりで人持ちになろう<br>修了式<br>交流サロン                       | 岸本千枝子<br>(アクションクルー取締役社長)<br>"                                        |

- ② 女性のためのニューワーク創業支援講座(初級コース)  
 会社の作り方や会計等起業に必要な基礎的な知識・技術を効果的に学ぶ講座を開催した。

定員：40人 受講料：30,000円

<2月期> 申込者数：43人 受講者数：35人

|   | 月日          | テ<br>ー<br>マ                                         | 講<br>師                                                         |
|---|-------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 1 | 2/6<br>(土)  | オリエンテーション<br>起業家度チェック、参加者の自己紹介<br>起業の要素<br>事業計画の作り方 | 奥谷京子(WWB/ジャパン事務局)<br>不破三枝子(株)レジー<br>岡本眞弘(岡本会計事務所)              |
| 2 | 2/7<br>(日)  | 起業のためのシミュレーション<br>経営者と経理<br>シミュレーションを書いてみましょう       | 奥谷京子(WWB/ジャパン事務局)<br>大竹薫(WWB/ジャパン事務局)<br>奥谷京子/大竹薫(WWB/ジャパン事務局) |
| 3 | 2/13<br>(土) | ビジネスゲーム<br>損益分岐点分析<br>事業組織と会社の作り方                   | 西村美也子(市民バンク)<br>岡本眞弘(岡本会計事務所)<br>"                             |
| 4 | 2/14<br>(日) | 女性起業家事例紹介<br>起業に資金はいくら必要か<br>資金調達                   | 岩田鈴代(艶いんかち)<br>片岡晃(市民バンク)<br>西村美也子(市民バンク)                      |
| 5 | 2/20<br>(土) | 起業のためのシミュレーション発表<br>21世紀に向けての起業<br>修了式<br>交流サロン     | 西村美也子(市民バンク)/片岡勝<br>片岡勝(株)プレス・オルターナティブ<br>代表取締役)               |

③ ニューワーク事業相談

事業計画の作り方を始め、融資申込みのための手続きなど、開業までの手順に沿った起業に関する相談及び起業後の経営のステップアップのための相談を実施した。

- ・日程：10月5日(月)、11月10日(火)、2月8日(月)、3月5日(金)、3月6日(土)
- ・相談者数：32名
- ・担当：WWB／ジャパン事務局スタッフ

## 5 調査研究事業

女性を取り巻く社会の動きに即応した実践的な課題について調査・研究を行い、市町村の事業や女性団体の活動を支援する教材の開発を行った。

### (1) メディアを読み解くための能力育成に必要な教材作成（平成10、11年度事業）

ドーンセンターの蓄積した各種事業のノウハウを活用し、市町村の女性政策担当課や女性センター・公民館・学校等における講座の企画・実施の手掛かりとなる『メディアリテラシーの教材』を開発する。

#### ・検討委員会の設置

金谷千慧子（女性問題研究家・関西大学講師）

西村寿子（部落解放研究所）

登 圭緯子（BBB-OSAKA）

大山治彦（龍谷大学大学院社会学研究科・メンズセンター）

佐々木真紀（女性と仕事研究所）

田上・尼川・川喜田コーディネーター

#### ・平成10年度は『メディアリテラシーの教材』の素案の作成をした。

（平成11年度は教材となる教則本及びワークシートの作成を行う。）

### (2) 『大阪おんな自分流 ― 扉を開けた8人の肖像 ― 』の出版

『大阪の女たち』歴史的資料の発掘・収集事業として、平成9年度事業は冊子及びビデオを作成したが、平成10年度は取材対象者8人分の冊子を1冊の単行本『大阪おんな自分流 ― 扉を開けた8人の肖像 ― 』として出版し、ビデオも販売を開始した。

#### ・単行本 著者 井上理津子（フリーライター）

発行 株式会社ヒューマガジン

B6判 200ページ 定価1,300円（税込み）

#### ・ビデオ 制作 ビデオ工房AKAME

各対象者ごとに1巻（計8巻） 20分程度

冊子とセットで各巻5,000円（全巻セット 40,000円）



## 6 女性のネットワークづくり事業

女性の団体、グループ等に活動の拠点となる場と機会を提供し、活動経験やノウハウ等の情報の蓄積、提供を行い、交流の活発化を図った。

### (1) 女性のためのアフターファイブ交流サロン

働く女性が、視野を広げ、仕事や生き方のステップアップを図り、情報交換、異業種交流等のネットワークをつくる場を提供した。

定 員：80人

参加費：前売 2,500円 当日 2,800円（12月開催時のみペア券 4,600円）  
午後6時30分から午後8時30分

|   | 月／日     | ゲ ス ト 等             | 参加者数 |
|---|---------|---------------------|------|
| 1 | 4／17（金） | ゲスト 伊藤明子（カラーアナリスト）  | 89人  |
| 2 | 6／12（金） | ゲスト 露の都（蕎麦家）        | 39人  |
| 3 | 10／2（金） | ゲスト 河村潤子（フリーライター）   | 82人  |
| 4 | 12／4（金） | ゲスト 木谷悦子（プロハーモニカ奏者） | 103人 |
| 5 | 2／5（金）  | ゲスト 鶴島緋沙子（小説家）      | 40人  |

### (2) ジャンプ活動助成事業成果報告会

大阪府ジャンプ活動助成事業の成果を広く府民に還元するとともに、各グループの交流を促進するため、助成を受けたグループによる活動報告、情報交換の場を提供した。

日 時：平成10年11月6日（金） 午後3時から午後5時

場 所：ドーンセンター5階大会議室

内 容：平成9年度にジャンプ活動助成を受けた団体・グループ・個人による、事業成果についての報告

参加者数：80人

## 7 文化表現事業

女性による文化、表現活動を支援するとともに、女性に対する固定的なイメージや社会意識の変革をめざす文化、表現活動を支援した。

### (1) 女性映像フェスティバル'98

女性の視点による映像文化の発展と映像分野への女性の参画の促進を図るため、女性映像関係者との交流や、女性監督等の作品の上映を行った。

とき：7月18日（土） 参加者：延1,517人

#### 〈ビデオ〉 ところ：視聴覚スタジオ

| 時 間          | 内 容                                             | 参加者数 |
|--------------|-------------------------------------------------|------|
| 11:00 ～11:50 | 「さぁ生きよう」（インド）                                   | 16人  |
| 11:55 ～12:20 | 「ゲット・ザ・ピクチャー」（カナダ）                              | 10人  |
| 18:30 ～19:10 | 「ドゥンセンタービデオナイトによる制作作品」                          | 12人  |
| 19:30 ～20:30 | 「大阪おんな自分流-扉を開けた8人の肖像-」<br>著作：財団法人大阪府男女協働社会づくり財団 | 12人  |

#### 〈映 画 & トーク〉 ところ：ホール

| 時 間          | 内 容                         | 参加者数 |
|--------------|-----------------------------|------|
| 13:00 ～14:35 | 「ユキエ」（日本）<br>監督：松井久子        | 480人 |
| 14:50 ～15:20 | トーク<br>松井久子（「ユキエ」監督）        | 480人 |
| 15:35 ～17:40 | 「黄落」（日本）<br>脚本：寺内小春 演出：深町幸男 | 477人 |

#### 〈ビデオ〉 ところ：パフォーマンススペース

| 時 間          | 内 容                                             | 参加者数 |
|--------------|-------------------------------------------------|------|
| 13:45 ～16:30 | 「大阪おんな自分流-扉を開けた8人の肖像-」<br>著作：財団法人大阪府男女協働社会づくり財団 | 30人  |

(2) 女性のためのビデオ講座の開催

① 女性のためのビデオ講座（初級編）

初心者を対象に、ビデオ作品の企画から撮影、編集までの実習を中心にした講座を開催した。

定員：20人 申込者数：24人 受講者数：17人

受講料：8,000円 午前10時～午後0時

|    | 月／日     | テ　　ー　　マ       | 講　　　師                                                            |
|----|---------|---------------|------------------------------------------------------------------|
| 1  | 5／28（木） | オリエンテーション     | ドーンセンター事業担当コーディネーター<br>田上　時子<br><br>ドーンセンタービデオ編集室オペレーター<br>下之坊修子 |
| 2  | 6／4（木）  | 企　画・構　成・シナリオ  |                                                                  |
| 3  | 6／11（木） | カメラワーク・ライティング |                                                                  |
| 4  | 6／18（木） | 撮　影           |                                                                  |
| 5  | 6／25（木） |               |                                                                  |
| 6  | 7／2（木）  | 編　集           |                                                                  |
| 7  | 7／9（木）  |               |                                                                  |
| 8  | 7／16（木） |               |                                                                  |
| 9  | 7／18（土） |               |                                                                  |
| 10 | 7／23（木） | 発　表　会・批　評　会   |                                                                  |

② ビデオ講座（中級編）

業務用カメラを使って撮影実習と特殊効果を用いた編集の実習をしながら、簡単なアニメ作品を制作する講座を開催した。

定員：25人 申込者数：13人 受講者数：12人

受講料：8,000円 午後7時～午後9時

|   | 月/日       | テ ー マ     | 講 師                                                          |
|---|-----------|-----------|--------------------------------------------------------------|
| 1 | 11/12 (木) | オリエンテーション | ドーンセンタービデオ編集室オペレーター<br>下之坊修子<br>ビデオ工房AKAME<br>伊藤 ふさ<br>江上 諭子 |
| 2 | 11/19 (木) | 企 画・構 成   |                                                              |

|    | 月／日      | テ　　マ  | 講　　師                         |
|----|----------|-------|------------------------------|
| 3  | 11／26（木） | 撮　影   | ドーンセンタービデオ編集室オペレーター<br>下之坊修子 |
| 4  | 12／3（木）  |       |                              |
| 5  | 12／10（木） |       |                              |
| 6  | 1／7（木）   |       |                              |
| 7  | 1／14（木）  | 編　集   | ビデオ工房AKAME<br>伊藤　ふさ<br>江上　諭子 |
| 8  | 1／21（木）  |       |                              |
| 9  | 1／28（木）  |       |                              |
| 10 | 2／4（木）   | 上　映　会 |                              |

(3) 定期上映会（ドーン・シネマクラブ）

女性監督の作品や女性の視点に立つ映画の上映等を行った。

入場料：前売　800円　当日 1,000円　　場所：視聴覚スタジオ

|   | 月　日      | 上　映　作　品                                     | 参加者数 |
|---|----------|---------------------------------------------|------|
| 1 | 5／30（土）  | 「長江の夢」（97年、中国）                              | 163  |
| 2 | 9／4（金）   | 「母がクリスマスに帰るとき・・・」（95年、インド、ギリシャ、ドイツ）         | 43   |
| 3 | 11／28（土） | 「ウォーターメロンウーマン」（95年、アメリカ）                    | 56   |
| 4 | 1／22（金）  | 「The shot heard around the world」（97年、アメリカ） | 13   |
| 5 | 3／27（土）  | 「加恵、女の子でしょ!」（96年、日本）<br>「清子の場合」（89年、日本）     | 40   |

(4) 女性芸術劇場

女性の手による女性の視点を持った舞台芸術公演を開催し、広く府民に鑑賞の機会を提供した。

ところ：ホール

入場料：前売 大人（中学生以上） 2,000円  
 小人（3歳以上小学生まで） 1,500円  
 当日 大人（中学生以上） 2,500円  
 小人（3歳以上小学生まで） 2,000円

参加者数：1,270人

| 日 時                                                              | 内 容                     | 出 演    |
|------------------------------------------------------------------|-------------------------|--------|
| 10月17日（土）<br>19:00～21:00<br>18日（日）<br>12:00～14:00<br>16:00～18:00 | ミュージカル<br>「ムーンライトチルドレン」 | 劇団ひまわり |

(5) 海外女性監督ビデオ作品収集・加工

わが国では未公開の女性監督のドキュメンタリーを独自に収集し、日本語に翻訳・加工して、ライブラリーで視聴・貸出サービスを行い、広く活用を図った。今後、行政等が主催する女性問題啓発講座や団体・グループ等の研修会教材として活用できる作品については、販売も行う。

平成10年度製作品名

| 作 品 名                            | 監督・制作／配給       | 制作年   | 時間         | 種別       |
|----------------------------------|----------------|-------|------------|----------|
| ファイブ・ミニッツ 追加編                    | コンパスインターナショナル  | 1998年 | 28分        | ドキュメンタリー |
| 不適切な行動<br>— 高校生間のセクシュアル・ハラスメント — | カナダ国立<br>フィルム省 | 1997年 | 26分<br>30秒 | 教 材      |
| 子どもの権利（中高生編）                     | カナダ国立<br>フィルム省 | 1998年 | 22分<br>2秒  | ドキュメンタリー |

## 8 国際交流事業

### (1) 海外向け情報誌「DAWN」の発行

ドーンセンターの知名度を高め、情報の集積を促進するとともに、センターの活動や日本の民間レベルの女性問題情報を海外に発信するため、海外情報誌を発行した。

- ・発行時期 平成10年11月
- ・部 数 3,000部
- ・規 格 A4判 12ページ
- ・編集会議 次の委員からなる編集会議を設置し、編集基本方針や記事内容、執筆依頼先等を決定した。

#### <編集委員>

井上はねこ（編集工房アミ主宰）

宇野澄江（ウィメンズセンター大阪スタッフ）

タマラ スウェンソン（大阪女学院短期大学助教授）

浜本幸子（芦屋大学教授）

- ・基本方針 「女性への暴力」を特集記事とし、日本の現状紹介及び大阪地域での取り組み等の紹介とドーンセンターの事業紹介。

| ページ         | 内 容                                                                  | 執 筆 者                     |
|-------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| P1～P3       | 日本における「女性に対する暴力」の現状を紹介<br>・東京都の「夫・恋人からの暴力」調査結果の紹介                    | 服部 範子<br>宇野澄江編集委員         |
| P4～P5       | 大阪地域での取り組みの紹介<br>・大阪府警での取り組み<br>・フェミニストカウンセリング堺が実施した「夫・恋人等からの暴力」調査報告 | 井上はねこ編集委員<br>杉本 志津佳       |
| P6～P8       | ・「夫・パートナーからの暴力」<br>中村正助教授VS川喜田樹子コーディネーター<br>・外国人が見た日本の若い女性           | 情報誌「DAWN」より<br>タマラ スウェンソン |
| P9          | メディアで暴力に取り組んでいるアナウンサーの紹介（片山三喜子）                                      | 井上はねこ編集委員                 |
| P10<br>～P11 | データでみる日本の男女の性別役割分担意識：子育てを巡って                                         | 尼川樹子コーディネーター              |
| P12         | ドーンセンターの事業紹介<br>「暴力」への取り組み・大阪おんな自分流                                  | 事務局                       |

- (2) アジア太平洋女性ネットワークフォーラムの開催  
 アジア太平洋地域の女性たちと連携・交流を深め、共通する課題の解決や女性の地位向上について協力できる関係を築いていくため、海外のNGO等で活躍している女性を招へいし、シンポジウム、ワークショップ、交流会等の交流事業を大阪府とともに実施した。

日 時 平成10年12月12日(土)  
 場 所 ドーンセンター  
 内 容

|                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| シンポジウム<br>12月12日(土)<br>13:30～16:00<br>於:<br>ドーンセンター<br>ホール            | <p>女性たちがエンパワーメントするために 参加者数 181人<br/>         ～アジアの女性たちから学ぶもの～<br/>         コーディネーター: 船橋邦子(大阪女子大学女性学研究センター)<br/>         韓国 Ms. Chang Pilwha(梨花女子大学校 アジア女性学センター所長)<br/>         フィリピン Ms. Irene Donato(草の根女性エンパワーメントセンター委員)</p> <p>NGO・NPOの行政への働きかけについては、日本国内ではその活動がまだまだ不十分である。そのため、今後どのように活動を進めていけばよいかといった手法開発をNGO・NPOレベルにおいて活動を実施している女性から学ぶ。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 海外女性招へい事業企画参加型イベント<br>12月12日(土)<br>10:00～19:00<br>4・5F大会議室<br>セミナー室 等 | <p>○海外招へい者を交えてのワークショップ<br/>         「韓国女性・在日コリアン女性・日本女性の本音トーク」 参加者数 23人<br/>         主催: グループ大阪ちゃめ<br/>         「プランから実践へ: フィリピンのNGOから学ぶ」 参加者数 13人<br/>         主催: Women in Development International Network</p> <p>○一般企画参加型イベント<br/>         「青年海外協力隊が語る世界の女性」 参加者数 10人<br/>         主催: BBB・OSAKA<br/>         「臨床描画法ですぐに使えるカウンセリング技法の体験実習」 参加者数 30人<br/>         主催: クリスK・インターナショナル<br/>         「さをり織りの展示&amp;パフォーマンス」 参加者数 170人<br/>         主催: さをりひろば<br/>         「タイ・チェンライの農山村女性の自立支援!」 参加者数 40人<br/>         主催: つばさ'93<br/>         「北タイの女性たちの手工芸の展示・バザー」 参加者数 55人<br/>         主催: アジア子ども基金<br/>         「難民キャンプからの民芸品のバザー」 参加者数 60人<br/>         主催: 日本・ビルマ救援センター<br/>         「インド・パキスタン料理の実習と試食&amp;国際結婚とイスラム文化」 参加者数 20人<br/>         主催: プリランテ<br/>         ○ビデオ「さあ生きよう! TO BE ALIVE!」上映会 参加者数 18人</p> |

# 【滞在日程】

|                          |              |               |              |               |              |
|--------------------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|
| 滞在日数: 5泊6日(来日1日・帰国1日を含む) |              |               |              |               |              |
| 日                        | 1            | 2             | 3            | 4             | 5            |
|                          | 12/11(金)     | 12/12(土)      | 12/13(日)     | 12/14(月)      | 12/15(火)     |
| 程                        | 来日<br>(関西空港) | 大阪府での<br>イベント | 府内視察<br>打合せ等 | 市町村での<br>交流事業 | 府内視察         |
|                          |              |               |              |               | 帰国<br>(関西空港) |

## 9 健康に関する事業

### (1) マシンジム講習会

ウェルネスのフロア（地下1階）に設置した温水プール及びマシンジムの管理運営を行うとともに、マシンジム利用者講習会を実施した。

|         |     |         |           |
|---------|-----|---------|-----------|
| 講習会実施回数 |     | 3 4 3 回 |           |
| 参加者     | 女 性 | 1,519 人 | 計 1,990 人 |
|         | 男 性 | 471 人   |           |

### (2) フィットネススクールの開催

府民の健康の保持・増進を図るとともに、ドーンセンター利用者の交流を促進するため、地下1階ウェルネスのフロアにおいて、フィットネススクールを開催した。

定 員：スイミング 15人 エアロビクス 22人

回 数：各スクールとも10回

受講料：各スクールとも10,000円、保険料300円

| ス ク ー ル 名         | 曜 日 | 時 間         | 受 講 者 数 |       |        |       |
|-------------------|-----|-------------|---------|-------|--------|-------|
|                   |     |             | 4 月 期   | 7 月 期 | 10 月 期 | 1 月 期 |
| ス イ ミ ン グ （ 初 級 ） | 月曜日 | 13:45~15:00 | 15      | 15    | 15     | 15    |
| ス イ ミ ン グ （ 初 級 ） | 月曜日 | 18:45~20:00 | 15      | 15    | 15     | 15    |
| ス イ ミ ン グ （ 初 級 ） | 火曜日 | 13:45~15:00 | 15      | 15    | 15     | 15    |
| ス イ ミ ン グ （ 初 級 ） | 木曜日 | 10:30~11:45 | 15      | 15    | 15     | 15    |
| ス イ ミ ン グ （ 中 級 ） | 金曜日 | 13:45~15:00 | 15      | 15    | 15     | 15    |
| ビギナーエアロビクス        | 火曜日 | 10:30~11:30 | 22      | 22    | 22     | 22    |
| ビギナーエアロビクス        | 木曜日 | 19:00~20:00 | 22      | 22    | 22     | 22    |
| ビギナーエアロビクス        | 金曜日 | 18:30~19:30 | 22      | 22    | 22     | 22    |
| エ ア ロ ビ ク ス       | 火曜日 | 18:30~19:30 | 22      | 22    | 22     | 21    |
| リ フ レ ッ シ ュ 体 操   | 木曜日 | 14:30~15:30 | 22      | 20    | 23     | 17    |
| らくらくリフレッシュ体操      | 金曜日 | 10:30~11:30 | 22      | 21    | 22     | 22    |
| 合 計               |     |             | 207     | 204   | 208    | 201   |



## 10 ドーンフェスティバル '98

ドーンセンターの設立趣旨である男女協働社会づくりを広くPRするため、センターの各施設や機能を利用し全館あげて、女性の自立と参加・参画をテーマに以下の各種イベントを実施した。

と き：平成10年11月6日（金）、7日（土）の2日間

ところ：ドーンセンター7Fホールほか

### (1) ウィメンズフォーラム

日 時：11月6日（金）午後1時30分～午後4時15分

場 所：7Fホール

参加者数：403人

内 容：大阪府女性基金プリムラ賞授賞式 午後1時30分～午後2時

基調講演「ジェンダーと暴力」 午後2時15分～午後4時15分

趣 旨 ドーンセンターでは、21世紀に向けて取り組むべき重点  
テーマとして、「女性への暴力」をとりあげている。

社会学分析を踏まえ、社会的・政治的レベルでの今後の対応  
について講演

ゲスト 上野千鶴子（東京大学教授）

### (2) 親と子で観る「人形劇」

日 時：11月6日（金）午後7時～午後8時

場 所：7Fホール

参加者数：201人

入 場 料：親子券 1,000円、個人券 500円

出 演：げきだん夢問屋

上演作品：「くわずとケチ寅」「ブラックファンタジーシアター」

### (3) 講演会「育児における父性の役割 働く女性の育児」

日 時：11月7日（土）午後2時～午後5時

場 所：7Fホール

参加者数：86人

参 加 費：無料

企 画・実 施：社団法人 大阪小児科医会

ゲ ス ト：タケカワ ユキヒデ

後 援：大阪府医師会・アップリカ育児研究会

(4) ゴスペル IN ドーンフェスティバル' 98

日 時：11月7日（土）午後7時～9時

場 所：7Fホール

参加者数：264人

参加費：前売り 2,000円 当日 2,500円

出 演：サンディ・ブレアwith Mother Ship&A Touch of LUV

企 画：Music Information

内 容：ニューヨーク生まれの女性サンディ・ブレアとその仲間による本場のジャズ演奏

(5) 企画参加型イベント

ドーンフェスティバル'98において、女性グループ等の自主企画イベントをテーマ別企画参加型イベントと一般企画参加型イベントに分け実施した。

① テーマ別企画参加型イベント

21世紀に向けて「文化と暴力」をさまざまな角度から考えるため、財団主催のウィメンズフォーラムと併せてテーマ別企画参加型イベントを実施した。

| 日 時                    | テ ー マ   | 実 施 グ ル ー プ ・ 内 容                                                         |
|------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------|
| 11/6（金）<br>15:00~19:00 | 家 族     | 平成9年度大阪府ジャンプ活動助成事業参加グループ<br>「大阪府ジャンプ活動助成事業報告会」                            |
| 11/7（土）<br>14:00~16:00 | 教 育     | メンズセンター<br>「男の非暴力ワークショップ — 豊かな表現を取り戻すために」                                 |
| 11/7（土）<br>17:00~20:00 | メ デ ィ ア | コマーシャルの中の男女役割を問いなおす会<br>「徹底討論 性の商品化はどこが問題なのか — メディアの暴力を考える —」             |
| 11/7（土）<br>17:00~20:00 | 社 会     | ウィング21・グループ縁女・世界女性会議ネットワーク関西共催<br>「夫・恋人からの暴力 シェルターからの報告 ～女性の自立と支援体制を考える～」 |
| 11/7（土）<br>13:00~16:00 | 子 ど も   | 「波」ウェーブ<br>「シリーズ” 困ったときどうしてる？” 『もっと親子の会話を増やしましょう！』ってどうすりゃいいの??」           |
| 11/7（土）<br>17:00~20:00 | 職 場     | ワーキング・ウィメンズ・ネットワーク<br>「『うちの女の子』ってよばないで — セクシュアル・ハラスメントに負けないために」           |

② 一般企画参加型イベント

自由なテーマによる講演会、シンポジウム、パフォーマンス、展示、バザーなどの自主企画イベントを実施した。

| 日 時                                       | 内 容         | 開 催 会 場              | 参加数    |
|-------------------------------------------|-------------|----------------------|--------|
| 11月6日(金) 18:00~20:00<br>7日(土) 13:00~20:00 | 講演会、シンポジウム等 | 大会議室、セミナー室、特別会議室     | 14グループ |
| 11月6日(金) 15:00~20:00<br>7日(土) 10:00~20:30 | パフォーマンス     | パフォーマンススペース、視聴覚スタジオ等 | 20グループ |
| 11月6日(金) 13:00~20:00<br>7日(土) 10:00~18:00 | 展示、バザー等     | 小・中会議室、ロビー等          | 25グループ |

## 11 共催事業

ドーンセンターの施設の特色を活用して実施する、当財団設立の基本理念に沿った事業を共催した。

| 月日       | 内 容                                                             | 場所      | 共催相手方                   | 参加者数 |
|----------|-----------------------------------------------------------------|---------|-------------------------|------|
| 6/11(木)  | 映画「黄落」完成試写会                                                     | 視聴覚スタジオ | (株)大阪映画センター             | 50   |
| 7/25(土)  | ドイツから二人のパネリストを迎えて国際シンポジウム「EU（欧州連合）とCEDAW（女性差別撤廃条約）に学ぶ男女平等の国際基準」 | ホール     | ワーキング・ウイメンズ・ネットワーク      | 360  |
| 10/4(日)  | <女と健康フェスティバル><br>女のからだと心と生き方が「男女共同参画社会基本法（仮称）」に結びつくの？           | 大会議室    | ウイメンズセンター大阪             | 200  |
| 11/10(火) | 大阪センチュリー交響楽団ドーンセンターコンサート                                        | ホール     | ・大阪府<br>・(財)大阪府文化振興財団   | 396  |
| 11/20(金) | 世界人権宣言採択50周年記念<br>「人権啓発講演会」                                     | ホール     | 大阪法務局<br>大阪府人権委員会       | 298  |
| 11/28(土) | くれない塾・連続講座                                                      | ホール     | ネットワーク関西・くれない塾          | 140  |
| 2/20(土)  | 1999 国際高齢者年をむかえて<br>— 講演と映画のつどい —                               | ホール     | 関西プロデュースセンター<br>BONOBON | 350  |
| 3/6(土)   | 児童文学講演会<br>— 吉屋信子「花物語」を読み直す —                                   | 大会議室    | 財団法人大阪国際児童文学館           | 47   |
| 3/4(木)   | 映画試写会<br>「君の手がささやいている」                                          | 視聴覚スタジオ | (株)大阪映画センター             | 40   |
| 3/11(木)  |                                                                 | ホール     |                         | 340  |

## 1 2 広報事業

ドーンセンターの設置目的、施設概要、主要事業などの周知を図り、センターの利用と事業への参加を促進するため、各種媒体を用い広報活動を行った。

### (1) 情報誌『DAWN』～おおさか発 女と男の情報誌～の作成

ドーンセンターと大阪府（生活文化部男女協働社会づくり課）と共同編集でドーンセンター主催講座・イベントの案内、グループ活動紹介、センター施設紹介、「おおさか発トピックス」等を内容とする情報誌を作成し、都道府県をはじめ府内外の女性関連施設、市町村女性政策関連行政機関、図書館等に配付した。

・A4版12頁 20,000部

・平成10年3月（第2号） 平成10年9月（第3号）

平成10年12月（第4号） 平成11年3月（第5号）

### (2) 利用案内パンフレット等の作成

ドーンセンターの設置目的、施設概要、主催事業などの周知を図り、センターの利用と事業への参加を促進するため、施設利用パンフレット、センター主催事業のチラシ等を作成した。

## 1 3 一時保育事業

子育て中の女性の社会参加を促進・支援することを目的として、ドーンセンターの主催事業への参加者やライブラリー等の利用者を対象に「こどものへや」を設置し、一時保育事業を実施した。

### (1) 実施内容

#### ① 主催事業の一時保育

センター主催事業参加者を対象として、一時保育を実施した。

#### ② 定期保育

ウエルネスのフロアやライブラリー等センター利用者を対象として毎週木曜日（午前・午後）と第2・4火曜日（午前）に実施した。

・保育時間（9：30～12：30、13：30～16：30）

#### ③ 「こどものへや」の貸し出し

センター施設を利用する団体・グループが保育を実施する場合に、「こどものへや」の貸し出しを行った。

### (2) 保育協力者 38名（平成11年3月31日現在）

保育協力者については、府婦人会館での協力者や大阪府内の女性関係施設における保育ボランティア養成講座終了生、保育経験者、保母・幼稚園教諭・看護婦等の資格所有者及び資格取得見込み者（学生）を中心に募集した。

### (3) 保育協力者の定例会及び研修会

「こどものへや」の自主的な運営を行うため、保育協力者の参加の下、保育活動状況や、「こどものへや」の運営等についての定例会を開催した。（計8回）

また、センターの設立趣旨や目的、男女協働社会における保育等についての研修を行い、その成果を保育活動に反映させるよう努めた。

## (4) 「こどものへや」の利用状況

|        | 主 催 事 業 |      |        | 定期保育（火・木曜日） |       |        | 貸 出<br>③ | 合 計<br>①+②+③ |
|--------|---------|------|--------|-------------|-------|--------|----------|--------------|
|        | 開催回数 ①  | 子ども数 | 保育協力者数 | 開催回数 ②      | 子ども数  | 保育協力者数 |          |              |
| 4月     | 1       | 1    | 2      | 10          | 90    | 47     | 14       | 25           |
| 5月     | 4       | 24   | 12     | 8           | 116   | 38     | 9        | 21           |
| 6月     | 9       | 41   | 21     | 10          | 123   | 49     | 5        | 24           |
| 7月     | 10      | 39   | 24     | 12          | 136   | 59     | 4        | 26           |
| 8月     | 2       | 10   | 5      | 10          | 114   | 49     | 5        | 17           |
| 9月     | 9       | 30   | 12     | 6           | 76    | 25     | 7        | 22           |
| 10月    | 11      | 81   | 27     | 12          | 121   | 39     | 11       | 34           |
| 11月    | 8       | 48   | 19     | 7           | 65    | 26     | 13       | 28           |
| 12月    | 8       | 13   | 12     | 8           | 86    | 33     | 4        | 20           |
| 1月     | 4       | 4    | 6      | 10          | 129   | 49     | 5        | 19           |
| 2月     | 11      | 41   | 28     | 10          | 102   | 41     | 7        | 28           |
| 3月     | 6       | 34   | 15     | 9           | 117   | 48     | 11       | 26           |
| 10年度 計 | 83      | 366  | 183    | 112         | 1,275 | 503    | 95       | 290          |
| 9年度 計  | 121     | 431  | 319    | 92          | 1,397 | 584    | 151      | 364          |

## 第2 施設の管理

大阪府から委託を受け、ドーンセンターの管理運営を行うとともに府民の方々にホールや会議室の貸し出しを行った。

### 1 来館者数

(単位：人)

|       | 会議室等    | ホール等    | ライブラリー | ウェルネス   | 視察    | その他    | 合計      | 1日平均            |
|-------|---------|---------|--------|---------|-------|--------|---------|-----------------|
| 4月    | 14,639  | 8,719   | 6,810  | 7,764   | 29    | 1,935  | 38,896  | (25日)<br>1,596  |
| 5月    | 13,877  | 9,330   | 7,526  | 8,321   | 4     | 1,681  | 40,739  | (24日)<br>1,697  |
| 6月    | 16,864  | 9,199   | 8,395  | 9,588   | 313   | 1,964  | 46,323  | (26日)<br>1,782  |
| 7月    | 15,335  | 9,289   | 8,504  | 10,050  | 46    | 1,909  | 45,133  | (25日)<br>1,805  |
| 8月    | 11,824  | 6,730   | 10,129 | 10,910  | 92    | 1,821  | 41,506  | (27日)<br>1,537  |
| 9月    | 13,660  | 8,020   | 5,501  | 8,120   | 82    | 1,665  | 37,048  | (23日)<br>1,611  |
| 10月   | 16,101  | 10,492  | 8,797  | 7,821   | 201   | 2,089  | 45,501  | (26日)<br>1,750  |
| 11月   | 14,782  | 12,627  | 8,029  | 5,819   | 199   | 1,886  | 43,342  | (24日)<br>1,806  |
| 12月   | 11,038  | 7,783   | 4,562  | 3,963   | 53    | 1,746  | 29,145  | (23日)<br>1,267  |
| 1月    | 11,685  | 8,765   | 6,760  | 4,768   | 63    | 1,775  | 33,816  | (22日)<br>1,537  |
| 2月    | 14,161  | 11,130  | 7,890  | 5,125   | 44    | 1,965  | 40,315  | (23日)<br>1,753  |
| 3月    | 14,668  | 10,730  | 7,654  | 5,602   | 72    | 1,976  | 40,702  | (25日)<br>1,628  |
| 10年度計 | 168,634 | 112,814 | 90,557 | 87,851  | 1,198 | 22,412 | 483,466 | (293日)<br>1,650 |
| 9年度計  | 172,425 | 113,687 | 88,047 | 100,781 | 1,424 | 22,795 | 499,159 | (293日)<br>1,704 |

## 2 会議室・ホール等の利用

各種グループが女性の自立並びにあらゆる分野への参加及び参画を促進する目的をもって行う学習活動等の催物の開催場所として、ドーンセンターの会議室やホールなどを貸し出した。

なお、センターの設置目的に支障のない範囲において、府民の健全で文化的な集会及び催物等の実施に対しても会議室等を貸し出した。

### (1) 利用状況

#### ① 会議室等の利用率

|        | 会 議 室 等 (%) |      |      |      | ホ ー ル (%) | パフォーマンススペース (%) | 合計 (%) |
|--------|-------------|------|------|------|-----------|-----------------|--------|
|        | 会議室         | 和 室  | 調理室等 | 小 計  |           |                 |        |
| 4 月    | 76.6        | 65.3 | 39.5 | 65.0 | 63.8      | 20.3            | 62.9   |
| 5 月    | 76.4        | 70.8 | 35.6 | 64.4 | 56.1      | 33.3            | 62.6   |
| 6 月    | 76.7        | 67.3 | 40.5 | 65.6 | 54.2      | 37.5            | 63.8   |
| 7 月    | 74.8        | 70.7 | 38.7 | 64.3 | 56.5      | 14.5            | 61.6   |
| 8 月    | 55.2        | 43.8 | 28.4 | 46.5 | 61.3      | 10.7            | 45.5   |
| 9 月    | 74.6        | 69.6 | 34.5 | 62.9 | 63.5      | 41.3            | 61.9   |
| 10 月   | 71.3        | 67.9 | 41.4 | 62.7 | 70.8      | 37.5            | 61.9   |
| 11 月   | 76.5        | 68.8 | 42.8 | 66.3 | 81.9      | 41.7            | 65.8   |
| 12 月   | 71.4        | 58.7 | 34.3 | 59.8 | 62.7      | 47.4            | 59.4   |
| 1 月    | 69.8        | 56.8 | 29.3 | 57.3 | 51.9      | 70.0            | 57.6   |
| 2 月    | 76.9        | 64.5 | 38.9 | 65.1 | 61.9      | 34.9            | 63.6   |
| 3 月    | 72.8        | 58.0 | 37.7 | 61.5 | 66.7      | 39.1            | 60.7   |
| 10年度 計 | 72.6        | 63.5 | 36.9 | 61.7 | 62.9      | 34.9            | 60.5   |
| 9年度 計  | 77.4        | 70.7 | 41.3 | 66.7 | 68.0      | 43.5            | 65.6   |

#### ② 利用目的別比率

| 種 別         | 目 的 内 利 用 (%) |      |      |      | 一般利用 (%) |
|-------------|---------------|------|------|------|----------|
|             | 財団主催講座等       | 登録団体 | その他  | 合 計  |          |
| 会議室等        | 3.4           | 32.1 | 26.4 | 61.9 | 38.1     |
| ホール         | 7.7           | 9.5  | 13.2 | 30.4 | 69.6     |
| パフォーマンススペース | 9.0           | 6.3  | 28.8 | 44.1 | 55.9     |
| 計           | 3.8           | 30.2 | 25.9 | 59.9 | 40.1     |



③ 曜日別、時間帯別利用率

| 種 別                                       |    | 午 前 (%)<br>(9:30~12:00) | 午 後 (%)<br>(13:00~17:00) | 夜 間 (%)<br>(18:00~21:30) | 計<br>(%) |
|-------------------------------------------|----|-------------------------|--------------------------|--------------------------|----------|
| 会<br>議<br>室<br>等                          | 平日 | 52.9                    | 70.5                     | 62.3                     | 61.9     |
|                                           | 土曜 | 64.6                    | 89.1                     | 54.2                     | 69.3     |
|                                           | 日祝 | 60.4                    | 86.2                     | 19.0                     | 55.2     |
|                                           | 小計 | 56.6                    | 77.1                     | 51.5                     | 61.7     |
| ホ<br>ー<br>ル                               | 平日 | 50.7                    | 74.3                     | 47.4                     | 57.5     |
|                                           | 土曜 | 62.0                    | 90.0                     | 62.0                     | 71.3     |
|                                           | 日祝 | 82.5                    | 92.1                     | 33.3                     | 69.3     |
|                                           | 小計 | 60.4                    | 81.5                     | 46.8                     | 62.9     |
| パ<br>ワ<br>ー<br>ン<br>ス<br>ス<br>ペ<br>ー<br>ス | 平日 | 21.2                    | 31.7                     | 25.6                     | 26.5     |
|                                           | 土曜 | 42.0                    | 54.0                     | 36.0                     | 44.0     |
|                                           | 日祝 | 52.4                    | 63.5                     | 30.2                     | 48.7     |
|                                           | 小計 | 32.3                    | 43.9                     | 28.6                     | 34.9     |
| 合 計                                       | 平日 | 51.4                    | 69.0                     | 60.0                     | 60.1     |
|                                           | 土曜 | 63.3                    | 87.4                     | 53.7                     | 68.1     |
|                                           | 日祝 | 61.1                    | 85.4                     | 20.3                     | 55.6     |
|                                           | 小計 | 55.6                    | 75.8                     | 49.2                     | 60.5     |

3 視察対応

全国の行政関係、女性団体・グループ及び海外からの視察を受け、センター設立の趣旨・目的並びに事業概要の説明を行った。

|       | 行政関係 |     | 各種団体 |     | そ の 他 |     | 合 計 |       |
|-------|------|-----|------|-----|-------|-----|-----|-------|
|       | 件数   | 人 数 | 件数   | 人 数 | 件数    | 人 数 | 件数  | 人 数   |
| 10年度計 | 53   | 808 | 17   | 298 | 11    | 150 | 81  | 1,256 |
| 9年度計  | 28   | 216 | 40   | 568 | 24    | 640 | 92  | 1,424 |

#### 4 グループ活動の支援等

ドーンセンターを定期的に利用するグループの活動支援と利用の促進及び交流を図るため、次のとおり施設の提供等を行った。

##### (1) グループロッカーの設置

グループが学習等の活動を行うために必要な物品を保管するとともに、グループ相互の情報交換場所として、センター内にグループロッカールームを設けた。

・利用団体数 100団体・グループ（平成11年3月31日現在）

##### (2) 登録団体制度の実施

男女の自立とあらゆる分野への参加・参画を促進することを目的として、ドーンセンターを定期的に利用するグループを利用者団体として登録し、優先的にセンターを利用できるよう、一般の利用申込受付に先立って、利用申込を受け付ける制度を実施した。

・登録団体数 198団体・グループ（平成11年3月31日現在）

##### (3) ワークステーションの運営

ワークステーションに印刷機等の機器類を設置し、団体・グループ等の自主的な活動のために必要な、チラシ・資料等の印刷やコピー、木工作業等の軽作業を行うことができる無料のスペースを提供した。

・設置機器 印刷機、コピー機、紙折機、裁断機、製本機、木工電動工具

#### < 利用状況 >

|     | 利用者数（人） | 印刷機利用団体数 | ワーク利用団体数 |
|-----|---------|----------|----------|
| 4月  | 923     | 155      | 19       |
| 5月  | 884     | 126      | 10       |
| 6月  | 922     | 141      | 11       |
| 7月  | 880     | 140      | 20       |
| 8月  | 950     | 134      | 3        |
| 9月  | 776     | 118      | 7        |
| 10月 | 905     | 161      | 7        |
| 11月 | 862     | 146      | 12       |
| 12月 | 849     | 139      | 5        |
| 1月  | 677     | 122      | 7        |
| 2月  | 795     | 145      | 8        |
| 3月  | 866     | 174      | 8        |
| 合 計 | 10,289  | 1,701    | 117      |

#### (4) 情報交換プラザの運営

センター内外で行われる各種行事の情報提供及びグループ活動の交流や情報の交換が行えるよう、1階の情報交換プラザにおいてグループ・団体、行政機関等のチラシやパンフレット等を配布した。

|      | 府 庁 関 係 | 市 町 村 | 他の女性センター | 自 主 グ ル ー プ | 合 計   |
|------|---------|-------|----------|-------------|-------|
| 10年度 | 621     | 578   | 263      | 1,023       | 2,485 |
| 9年度  | 596     | 527   | 230      | 1,189       | 2,542 |

### 第3 財団の運営

#### 1 理事会の開催

- 第13回 平成10年4月16日(木)  
内 容：理事の選任について
- 第14回 平成10年6月26日(金)  
内 容：平成9年度事業報告及び収支決算について
- 第15回 平成11年3月18日(木)  
内 容：平成10年度収支補正予算について  
平成11年度事業計画及び収支予算について  
諸規程の一部改正について

#### 2 ドーンセンター運営推進委員会の開催

ドーンセンターの機能を十分に活用し、有効かつ円滑な事業運営を図るため、ドーンセンター運営推進委員会を開催し、種々の意見、提言をいただいた。

- 第11回 平成10年7月24日(金)  
内 容：平成9年度事業報告について  
平成10年度事業計画及び収支予算について
- 第12回 平成10年12月8日(火)  
内 容：財団及びドーンセンターの概要について  
平成10年度事業計画について
- 第13回 平成11年2月26日(金)  
内 容：平成10年度事業報告について  
平成11年度事業案及び予算案について

平成10年度 ドーンセンター主催講座・イベント及び行事一覧

[illegible]

## 参 考 資 料

## 財団法人大阪府男女協働社会 づくり財団 設 立 趣 意 書

1975年の「国際婦人年」及びこれに続く「国連婦人の10年」を契機として、世界各国では、女性の地位向上や女性に対するあらゆる差別の撤廃に向けての取り組みが積極的に進められてきました。

我が国においても、男女雇用機会均等法の制定をはじめ国内関係法の整備を行い、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を批准するとともに、新国内行動計画を策定し、女性関係施策を推進しております。

大阪府においても第1期、第2期行動計画に続き、平成3年9月には第3期行動計画「女と男のジャンプ・プラン」を策定し、知事を本部長とする大阪府女性政策企画推進本部のもとに女性問題の解決を図るための施策を積極的に推進しております。

大阪が地球時代にふさわしく、人間と自然の調和を保ち、かつ文化の薫り高い国際都市へ発展していくためには、男女が共に人間として尊重され、性差にとらわれることなく、豊かな人間関係のなかで、人生のあらゆる段階で支えあうことのできる社会、即ち、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加・参画に基づく男女協働社会を実現することが不可欠であります。

しかしながら、男女の固定的な役割分担意識はまだ根強く、男女の自立及びあらゆる分野への対等な参加・参画を不十分なものとしています。また、近年における高齢化、情報化、国際化等の急激な進展により、女性問題に係わる新たな課題が生じてきております。

男女協働による真に豊かな社会を実現するためには、行政の力だけで達成できるものではなく、民間においても女性問題の解決に向けて社会的な気運の醸成を図るとともに、企業、民間団体さらには府民一人ひとりが知恵と創意を発揮して積極的な活動を展開することが重要です。

財団法人大阪府男女協働社会づくり財団は、そうした行政並びに府民、民間団体等が連携した多様な活動を効果的に推進するために中心的な役割を果たすとともに、男女の自立とあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進するため、情報の収集及び提供に関する事業、能力開発に関する事業、女性の抱える問題に関する相談事業、女性の交流の促進並びに文化及び表現活動の支援に関する事業、調査研究及び啓発学習に関する事業、女性の健康に関する事業及びドーンセンター（大阪府立女性総合センター）の管理運営を行うこと等により、男女協働社会の実現に寄与することを目的として設立するものであります。

# 財団法人大阪府男女協働社会 づくり財団 寄 附 行 為

## 第1章 総則

### (名称)

第1条 この法人は、財団法人大阪府男女協働社会づくり財団と称する。

### (事務所)

第2条 この法人は、事務所を大阪府中央区大手前1丁目3番49号に置く。

### (目的)

第3条 この法人は、大阪府の区域内において、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進する事業を行い、もって男女協働社会の実現に寄与することを目的とする。

### (事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業
- (2) 女性の能力開発に関する事業
- (3) 女性の抱える問題に関する相談事業
- (4) 女性の交流の促進並びに文化及び表現活動の支援に関する事業
- (5) 男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進するための調査研究及び啓発学習に関する事業
- (6) 女性の健康に関する事業
- (7) 前各号に掲げる事業及び施設の管理運営の受託に関する事業
- (8) 前7号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

## 第2章 資産、会計及び事業計画

### (資産の構成)

第5条 この法人の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された財産
- (2) 寄附金品
- (3) 資産から生ずる収入
- (4) 事業に伴う収入
- (5) その他の収入

#### (資産の種別)

第6条 資産は、基本財産及び運用財産の2種とする。

2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

(1) 設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産

(2) 基本財産とすることを指定して寄附された財産

(3) 理事会において運用財産から基本財産に繰り入れることを議決した財産

3 運用財産は、基本財産以外の財産とする。

#### (資産の管理)

第7条 資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

2 基本財産のうち現金は、郵便官署若しくは確実な金融機関に預け入れ、信託会社に信託し、又は国債、公債その他確実な有価証券に換えて保管しなければならない。

#### (基本財産の処分の制限)

第8条 基本財産は、これを処分し、又は担保に供することができない。

ただし、この法人の事業遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会において、理事数の4分の3以上の同意を得、かつ、大阪府知事の承認を得て、その一部を処分し、又はその全部若しくは一部を担保に供することができる。

#### (経費の支弁)

第9条 この法人の経費は、運用財産をもって支弁する。

#### (事業計画及び予算)

第10条 この法人の事業計画及び予算は、理事長が作成し、毎会計年度開始前に理事会の議決を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。

#### (暫定予算)

第11条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

#### (事業報告及び決算)

第12条 理事長は、毎会計年度終了後3カ月以内に、事業状況報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録等を作成し、監事



の監査を経て、理事会の承認を得なければならない。

(長期借入金)

第13条 この法人が資金の借入れをしようとするときは、会計年度の収支をもって償還する短期借入金を除き、理事会において理事数の3分の2以上の同意を得、かつ、大阪府知事の承認を得なければならない。

(会計年度)

第14条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

### 第3章 役員

(種別)

第15条 この法人に、次に掲げる役員を置く。

- (1) 理事長 1人
- (2) 専務理事 1人
- (3) 理事(理事長及び専務理事を含む。) 10人以上20人以内
- (4) 監事 2人

(選任)

第16条 理事及び監事は、理事会において選任し、大阪府知事の承認を得るものとする。

- 2 理事長は、理事の互選により定める。
- 3 専務理事は、理事会の同意を得て理事長が指名する。
- 4 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。
- 5 理事のいずれか1名とその親族その他の特別の関係にある者の合計数は、理事数の3分の1を越えてはならない。
- 6 監事は、相互に親族その他の特別の関係にある者であってはならない。

(職務)

第17条 理事長は、この法人を代表し、業務を統括する。

- 2 専務理事は、理事長を補佐し、日常の業務を処理し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、業務を議決し、執行する。
- 4 監事は、次の職務を行う。
  - (1) 法人の財産の状況を監査すること。
  - (2) 理事の業務執行の状況を監査すること。
  - (3) 財産の状況又は業務の執行について不正の事実を発見したときは、こ

れを理事会及び大阪府知事に報告すること。

(4) 前号の報告をするため必要があるときは、理事会を招集すること。

#### (任期)

第18条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

3 役員は、辞任又は任期満了の後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

#### (解任)

第19条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会において、理事数の4分の3以上の議決により、これを解任することができる。ただし、理事会において、その役員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

(1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。

(2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったと認められるとき。

#### (報酬等)

第20条 役員は、無給とする。ただし、常勤の役員は、有給とすることができる。

2 役員には費用を弁償することができる。

3 前2項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が定める。

### 第4章 理事会

#### (構成)

第21条 理事会は、理事をもって構成する。

#### (権能)

第22条 理事会は、この寄附行為で別に定めるもののほか、この法人の運営に関する重要な事項を議決する。

#### (種類及び開催)

第23条 理事会は、通常理事会と臨時理事会の2種とする。

2 通常理事会は、毎年2回開催する。

3 臨時理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

(1) 理事長が必要と認めたとき。

(2) 理事数の3分の1以上の理事から会議の目的を記載した書面によって

開催の請求があったとき。

(3) 監事が第17条第4項第4号の規定により、招集したとき。

#### (招集)

第24条 理事会は、理事長が招集する。ただし、前条第3項第3号の規定による場合は、監事が招集する。

2 理事長は、前条第3項第2号の規定による請求があったときは、その日から14日以内に臨時理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。

#### (議長)

第25条 理事会の議長は、理事長が当たる。

#### (定足数)

第26条 理事会は、理事数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

#### (議決)

第27条 理事会の議事は、この寄附行為で別に定めるもののほか、出席した理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

#### (書面表決等)

第28条 やむを得ない理由のため、理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の理事を代理人として表決を委任することができる。

2 前項の場合における前2条の規定の適用については、その理事は出席したものとみなす。

#### (議事録)

第29条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 理事数

(3) 出席した理事の数及び氏名(書面表決者及び表決委任者については、その旨を付記すること。)

(4) 審議事項及び議決事項

(5) 議事の経過の概要及びその結果

(6) 議事録署名人の選任に関する事項

- 2 議事録には、その会議において出席した理事の中から選任された議事録署名人2人以上が、議長と共に署名押印しなければならない。

## 第5章 委員等

### (設置)

第30条 本財団に、第4条に定める事業の円滑な促進を図るため、必要に応じ、委員を置き、又は委員会を設置することができる。

- 2 委員の選任、委員会の設置、運営その他必要な事項は、理事会の同意を得て、理事長が別に定める。

## 第6章 事務局

### (設置)

第31条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。  
3 事務局の職員は、理事長が任免する。  
4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

### (書類及び帳簿の備付け)

第32条 事務所には、次に掲げる帳簿及び書類を常に備えておかなければならない。

- (1) 寄附行為
- (2) 理事、監事及び職員の名簿及び履歴書
- (3) 許可、認可等及び登記に関する書類
- (4) 寄附行為に定める機関の議事に関する書類
- (5) 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類
- (6) 資産、負債及び正味財産の状況を示す書類
- (7) その他必要な帳簿及び書類

## 第7章 寄附行為の変更及び解散

### (寄附行為の変更)

第33条 この寄附行為は、理事会において理事数の4分の3以上の同意を得、かつ、大阪府知事の認可を得なければ変更することができない。

### (解散)

第34条 この法人は、民法第68条第1項第2号から第4号までの規定によるほか、理事会において、理事数の4分の3以上の同意を得、大阪府知事

の承認のあったとき解散する。

(残余財産の処分)

第35条 解散後の残余財産は、理事会の議決を経て、大阪府知事の許可を得、この法人と類似の目的を有する公益法人又は大阪府に寄附するものとする。

第8章 雑則

(委任)

第36条 この寄附行為の施行について必要な事項は、寄附行為に定めるほか、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附則

- 1 この寄附行為は、この法人の設立許可のあった日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員は、第16条第1項から第3項の規定にかかわらず、設立者の定めるところとし、その任期は、第18条第1項の規定にかかわらず、平成8年3月31日までとする。
- 3 この法人の設立初年度の事業計画及び予算は、第10条の規定にかかわらず、設立者の定めるところによる。
- 4 この法人の設立初年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、設立許可のあった日から平成7年3月31日までとする。

附則

(施行期日)

- 1 この寄附行為は、平成6年9月1日から施行する。

財団法人 大阪府男女協働社会づくり財団

役員名簿

平成11年3月31日現在

|      | 役 員 名  | 役 職 名                           |
|------|--------|---------------------------------|
| 理事長  | 松廣屋 慎二 | 大阪府副知事                          |
| 専務理事 | 上田 忍   | 大阪府立女性総合センター館長                  |
| 理 事  | 本田 勝次  | 大阪府生活文化部長                       |
| 理 事  | 内野 淳子  | 労働省大阪女性少年室長                     |
| 理 事  | 高橋 叡子  | 大阪国際文化協会代表                      |
| 理 事  | 竹中 恵美子 | 龍谷大学経済学部教授                      |
| 理 事  | 中西 進   | 大阪女子大学学長                        |
| 理 事  | 西村 博子  | 園田学園女子大学文学部教授<br>劇場「タイニイ・アリス」主宰 |
| 理 事  | 萩尾 千里  | 関西経済同友会常任幹事・事務局長                |
| 理 事  | 端田 宣彦  | 作曲家、フォークソング歌手                   |
| 理 事  | 林 郁    | 財関西消費者協会理事長                     |
| 理 事  | 廣中 ミユキ | 花園大学 文学部助教授<br>元オリンピック体操選手      |
| 理 事  | 堀内 登久子 | 関西ニュービジネス協議会常任幹事                |
| 理 事  | 安枝 英伸  | 同志社大学 法学部教授                     |
| 理 事  | 若松 陽子  | 弁護士                             |
| 監 事  | 國村 健   | 大阪府副出納長                         |
| 監 事  | 中平 正子  | 大阪府生活文化部次長                      |

# ドーンセンター運営推進委員会設置要綱

## (設置)

第1条 大阪府立女性総合センター（ドーンセンター（以下「センター」という。））の機能を十分に活用し、有効かつ円滑な事業運営を図るため、センター館長（以下「館長」という。）の下にドーンセンター運営推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

## (所掌事務)

第2条 委員会は、センターの円滑な事業運営に関して意見及び提言を行う。

## (組織)

第3条 委員会は、館長が学識経験者、団体・グループ、利用者等の中から委嘱した委員をもって組織する。

- 2 委員会に、座長及び副座長をおく。
- 3 座長は、委員の互選により選任し、副座長は、座長の指名による。
- 4 座長は、委員会を代表し、会務を総括する。
- 5 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるときは、その職務を代理する。

## (任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (招集)

第5条 委員会は座長が招集し、座長がその議長になる。

## (報酬)

第6条 委員は無報酬とする。ただし、委員には別に定めるところにより費用を弁償することができる。

## (庶務)

第7条 委員会の庶務は、財団法人大阪府男女協働社会づくり財団事務局において行う。

## (委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、館長が定める。

## 附則

この要綱は、平成6年10月27日から施行する。

# ドーンセンター運営推進委員

平成11年3月31日現在

| 氏 名        | 役 職 名                   | 備 考 |
|------------|-------------------------|-----|
| 丸 本 郁 子    | 大阪女学院短期大学教授             | 座長  |
| 中 村 正      | 立命館大学助教授                | 副座長 |
| 井 上 はねこ    | アミ編集者学校                 |     |
| 河 野 紀 子    | O F A (大阪府婦人問題アドバイザーの会) |     |
| ケリー・レモン・キン | 心理カウンセラー                |     |
| 坂 上 洋 平    | 心理カウンセラー                |     |
| 正 路 伶 子    | ワーキング・ウィメンズネットワーク       |     |
| 高 森 勝 子    | (社)大阪府看護協会              |     |
| 田 中 かほる    | フェミニストカウンセリング堺          |     |
| 中 田 理恵子    | (社)部落解放・人権研究所           |     |
| 中 村 彰      | 21世紀の結縁と葬送を考える会         |     |
| 難 波 珠 枝    | 茶道友の会                   |     |
| 橋 詰 知 子    | (財)YWCA専門学校教育研究所        |     |
| 畑 律 江      | 毎日新聞社編集局学芸部             |     |
| 藤 木 美奈子    | WANA関西                  |     |
| 牧 里 毎 治    | 大阪府立大学教授                |     |
| 三 好 桂 子    | おんなの目で大阪の街を創る会          |     |
| 村 上 信 夫    | NHK大阪放送局                |     |
| 森 山 順 子    | CAPプロジェクト               |     |
| 渡 部 梢      | ハンド・イン・ハンドの会(大阪)        |     |



# 大阪府立女性総合センター条例

## (設置)

第1条 女性の自立並びにあらゆる分野への参加及び参画を促進し、もって男女協働社会の実現に資するため、大阪府立女性総合センター（以下「センター」という。）を大阪府中央区大手前1丁目に設置する。

## (事業)

第2条 センターは、次の事業を行う。

- 1 女性の抱える問題に関する相談を行うこと。
  - 2 女性に関する情報の収集及び提供を行うこと。
  - 3 女性の自立並びにあらゆる分野への参加及び参画を促進するための講習会、講演会、催物等を開催すること。
  - 4 センターの施設を前号に規定する講習会、講演会、催物等の開催の用に供すること。
  - 5 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するため必要なこと。
- 2 センターは、前項各号に掲げる事業を行うほか、前条の目的の達成に支障のない限り、その施設を府民の健全で文化的な集会、催物等の利用に供することができる。

## (使用料)

第3条 センターを利用しようとするものは、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定める額の使用料を納付しなければならない。ただし、マシンジム、フィットネススタジオ、プール及び駐車場を利用しようとする場合の使用料の額は、別表第2に掲げる金額とする。

- 1 利用者が第1条の目的のために利用する場合 別表第1に掲げる金額
- 2 前号に掲げる場合以外の場合 別表第1に掲げる金額に2を乗じて得た額

## (還付)

第4条 既納の使用料は、還付しない。ただし、知事は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

## (減免)

第5条 知事は、特別の理由があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。

## (管理の委託)

第6条 知事は、センターの管理に関する事務のうち、センターの利用、事業の運営及び施設の維持に関する事務を財団法人大阪府男女協働社会づくり財団に委託することができる。

## (規則への委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、規則で定める。

## 附 則

### (施行期日)

- 1 この条例の施行期日は、規則で定める。

### (大阪府立婦人会館条例の廃止)

- 2 大阪府立婦人会館条例（昭和38年大阪府条例第6号）は、廃止する。

# 大阪府立女性総合センター条例施行規則

## (趣旨)

第1条 この規則は、大阪府立女性総合センター条例（平成6年大阪府条例第1号。以下「条例」という。）第7条の規定に基づき、大阪府立女性総合センター（以下「センター」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

## (開館時間)

第2条 センターの開館時間は、午前9時30分から午後9時30分までとする。ただし、知事は、特別の理由があると認めるときは、開館時間を臨時に変更することができる。

## (休館日)

第3条 センターの休館日は、次に掲げる日とする。ただし、知事は、特別の理由があると認めるときは、休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

- 1 水曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「法」という。）に規定する休日（第3号に掲げる日に当たる場合を除く。以下同じ。）に当たるときは、その日後直近の開館日）
- 2 法に規定する休日の翌日（その日が法に規定する休日、前号に掲げる休館日又は土曜日若しくは日曜日に当たるときは、その日後直近の開館日）
- 3 12月29日から翌年の1月3日までの日

## (利用の制限)

第4条 センターを引き続き5日を超えて利用し、又は同じ月のうち5日を超えて利用することはできない。ただし、マシンジム、フィットネススタジオ、プール若しくは駐車場を利用しようとするとき又は知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

## (利用の申込み)

- 第5条 センターを利用しようとするものは、利用申込書（別記様式）を知事に提出し、その承認を受けなければならない。
- 2 前項の規定にかかわらず、マシンジム、フィットネススタジオ、プール又は駐車場を利用しようとするものは、知事が別に定める利用券の交付による承認を受けなければならない。

## (使用料の納付時期)

第6条 前条の規定により利用の承認を受けたもの（以下「利用者」という。）は、当該承認の際に、条例第3条に規定する使用料を納付しなければならない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

## (使用料の還付)

- 第7条 知事は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合には、条例第4条ただし書の規定に基づき、既納の使用料のうち、それぞれの当該各号に定める額を還付する。
- 1 天災その他やむを得ない理由によりセンターを利用できない場合で知事が適当と認めるとき 使用料に相当する額

- 2 ホール又はパフォーマンススペースの利用に係る利用者が利用の日の3月前までに利用の申込みを取り消したとき 使用料の5割に相当する額
- 3 ホール又はパフォーマンススペース以外の利用に係る利用者が利用の日の1月前までに利用の申込みを取り消したとき 使用料の5割に相当する額

(転貸等の禁止)

第8条 利用者は、利用の承認に基づく権利を譲渡し、又は他人に利用させてはならない。

(利用承認の取消し等)

第9条 知事は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、センターの利用承認を取り消し、又はその利用を制限し、若しくは停止させることがある。

- 1 センターの利用の申込みに偽りがあったとき。
- 2 他の利用者に危害若しくは迷惑を及ぼし、又はそのおそれがあるとき。
- 3 建物及び設備を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれがあるとき。
- 4 条例又はこの規則の各条項に違反したとき。
- 5 前各号に掲げるもののほか、センターの管理上支障があると認められるとき。

(入館の制限等)

第10条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を禁止し、又は退館を命ずることがある。

- 1 前条第2号及び第3号に規定する行為をした者又はするおそれのある者
- 2 承認なくして、寄附金の募集、物品の販売、商品、行事等の宣伝その他これらに類する行為をした者
- 3 前各号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損傷等の届出)

第11条 利用者は、建物及び設備を損傷し、又は汚損したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

(細則)

第12条 この規則の施行について必要な事項は、知事が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成6年11月1日から施行する。ただし、附則第2項の規定の施行期日は、平成6年11月1日とする。

(大阪府立婦人会館条例施行規則の廃止)

- 2 大阪府立婦人会館条例施行規則(昭和57年大阪府規則第20号)は、廃止する。